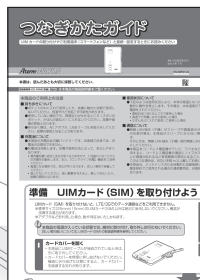


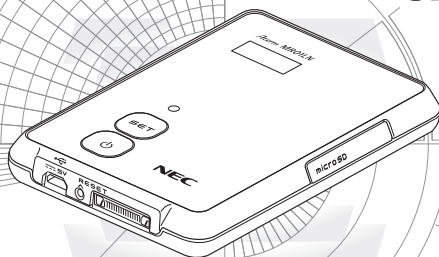
Aterm® MRO1LN

取扱説明書

第1版



↑
接続・設定の際は、
「つなぎかたガイド」
をご覧ください。



「ソフトウェアのご使用条件」は、別紙に記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度は Aterm MR01LN をご利用いただき、まことにありがとうございます。
Aterm MR01LN（以下、本商品と呼びます。）は、LTE/3G および公衆無線 LAN サービスに接続して通信を行う IEEE802.11b、IEEE802.11g に準拠したモバイルルータです。

本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



つながりかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。



取扱説明書（PDFファイル）（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。



機能詳細ガイド（HTMLファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。

「📄機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。

添付されておりますサポート案内の用紙に記載のURLからご覧ください。

（サポート案内は、「お問い合わせ・アフターサービス」や「お問い合わせ情報」などと記載されている場合があります。）

■ご利用いただくにあたって

- 本商品は日本国内でのご利用を前提にしています。海外に持ち出しての使用はできません。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所（屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では、通信できなかったり通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用にできない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなりますが、電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本商品は、高度な認証・暗号化技術を使った安全な通信が可能ですが、電波を利用する以上、第三者に通信を傍受される可能性があります。お客様ご自身の判断と責任において、お使いのパソコンのセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。

■電波に関する注意事項

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
- DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
- 4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
- ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

- Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
- らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- Windows[®]、Windows Vista[®]、Windows Live[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista[®] はオペレーティングシステムです。
- Mac、Macintosh、Mac OS、AirMac、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- インテル、Intel は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。
- PowerPC は、米国における米国 International Business Machines Corp. の商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Firefox[®] は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google Chrome は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 「プレイステーション」および「PSP」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。「PS Vita」は同社の商標です。また、「プレイステーション 3」、「PSP[®]」「プレイステーション・ポータブル」] および「PlayStation[®]Vita」は同社の商品です。©Sony Computer Entertainment Inc.
- Wii・ニンテンドー DS・ディーエス /DS およびニンテンドー Wi-Fi コネクションは、任天堂の登録商標または商標です。
- Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- microSDHC、microSD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

© NEC AccessTechnica, Ltd. 2012

NEC アクセステクニカ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

-  **警告** : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** : 人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号



発火注意



感電注意



高温注意

■ 行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



火気禁止



風呂等での
使用禁止

■ 行為を指示する記号



一般指示



電源プラグをコンセントから抜け

警告

AC アダプタ

- AC100～240Vの家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。  
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。  
また、重い物をのせたり、加熱したりするとACアダプタのコードが破損し、火災、感電の原因となります。

⚠ 警 告

- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。
たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- AC アダプタは必ず本商品に添付のもの（ラベルに「AL1-003456」と記載されているもの）をお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタに物をのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや AC アダプタのコードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品添付の AC アダプタは日本国内 AC100 ~ 240V (50/60Hz) の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。

UIM カード (SIM)

- UIM カード (SIM) を本商品へ取り付けや取り外す際は、必要以上の力を加えないでください。手や指を傷つけたり、故障の原因となることがあります。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にやめください。
- 本商品を故意に水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

警告

- 本商品の USB ポートやクレードルポートに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、隙間などから異物が入らないようにしてください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源を切り、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。
- AC アダプタのコードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたり、曲げたりしないでください。万一、落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源を切り、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。
- 車両の運転中に本商品进行操作しないでください。交通事故の原因となりますので、車両を安全な場所に止めてからご使用ください。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
改造した機器を使用した場合は、電波法に抵触します。
- めれた手でコネクタ部分に触れないでください。感電の原因となります。
- 本商品の USB ポートに変形した USB コネクタを接続しないでください。火災や故障の原因となります。
- 本商品の USB ポートに接続する際は、無理に力を加えないでください。火災や故障の原因となります。
- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。

⚠ 警 告

医療電気機器の近くでの取り扱いについて

※下記記載は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本商品は 22cm 以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。 
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本商品の電源を切るようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。 
- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。 
 - ・手術室、集中治療室（ICU）、冠動脈疾患監視病室（CCU）には、本商品を持ち込まないでください。
 - ・病棟内では、本商品の電源を切ってください。
 - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本商品の電源を切ってください。
 - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。
- 自宅療養などで医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。 

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。 
- 自動車やエレベータ、自動ドアなどの自動制御電子機器に影響が出る場合は、すぐに使用を中止してください。安全走行や安全運行を阻害する恐れがあります。 
- 風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災、感電、故障の原因となります。    

⚠ 警 告

- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類を置かないでください。また、屋外で使用する場合、本商品がぬれないようにご注意ください。水や液体が中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがありますので、すぐに電源を切り、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
- 水や飲料水、ペットの尿などでぬらさないでください。火災、感電、やけど、けがなどの原因となります。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。UIM カード (SIM) や microSD カードを誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。
- 引火や爆発の恐れがある場所 (ガソリンスタンドなど) や引火性のガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。爆発、発火、破裂、故障、火災の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注 意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置しないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、本商品の一部が熱くなり、やけどの原因となったり、内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を風通しの悪いところに置かないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・ じゅうたんや布団の上に置く
 - ・ テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。重ね置きや上部に物を置くと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本商品を、無理に縦置きにはしないでください。安定せず倒れて、故障や破損の原因となります。
本商品を、ランプ面を下にして使用しないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因となります。
- ポケットの中に入れて使用したり、皮膚に触れた状態で使用しないでください。低温やけどを起こす可能性があります。
- 布や毛布をかぶせたり、包んだりしないでください。火災、故障の原因となります。

⚠ 注 意

AC アダプタ / USB ケーブル

- AC アダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体を持って抜いてください。AC アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。⚠ ⚡
- 設置場所にご注意ください。AC アダプタに物がぶつかったりすると、AC アダプタが破損する可能性があります。あるいは、身体の一部が不用意にぶつかるとうけがの原因となります。ぶつかることのない場所に設置してください。⚠
- AC アダプタの電源プラグとコンセントの間にほころぎがある場合は、取り除いてください。火災の原因となることがあります。⚠
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。⚠ ⚡
- 長期間で使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。⚡
- 本商品を AC アダプタで充電しながら使用した場合、AC アダプタが高温になることがあります。やけどなどの恐れがありますので、ご注意ください。⚠
- USB ケーブルは、必ず本商品に添付のものを使用し、他の製品に使用しないでください。⚠
- USB ケーブルの両端の根本を強く引っ張ったり、曲げたり、コードを機器に丸めたりしないでください。接触不良となったり、電源供給ができなくなります。⊘

microUSB コネクタ / microSD カードスロット

- microUSB コネクタや microSD カードスロットなどにゴミやほこり・金属片などの異物を絶対に入れないでください。故障や記録内容の消失の原因となります。⚠
- microSD カードを取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがカチッと音がするまでしっかりと押し込み、すぐに指を離さないでください。microSD カードを装着しているカードスロットを顔の方に向けて急に指を離すと、カードが飛び出して危険です。⚠

⚠ 注 意

UIM カード (SIM)

- UIM カード (SIM) は当社指定のものを使用してください。指定以外のものを使用した場合、データ消失、故障の原因となります。❗
- 落としたり、ぬらしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重い物をのせたりしないでください。故障の原因となります。⊘
- 火のそばやストーブのそばなど高温の場所で使用したり、放置しないでください。変形、データ消失など故障の原因となります。⊘
- 他の製品の IC カードリーダーなどに UIM カード (SIM) を取り付けしないでください。故障の原因となります。故障した場合、お客様の責任となり、当社ではいっさいの責任を負いません。⊘
- UIM カード (SIM) の金属部を傷つけたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。⊘
- UIM カード (SIM) は本来の用途以外の方法で使用しないでください。データの消失、故障の原因となります。⊘
- UIM カード (SIM) の金属端子部分は汚さないでください。故障の原因となります。汚れたときはやわらかい布などでふき取ってください。⊘

禁止事項

- 使用していない場合でも、無理な力がかかる場所（ズボンのポケット、かばんの底など）に入れないでください。故障や破損の原因となります。⚠
- 本商品に乘らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。⊘
- 人が密集している場所では、使用しないでください。⊘
- クレジットカードなどを本商品に近づけないでください。磁気カードのデータが消える恐れがあります。⚠
- 雷が鳴りだしたら、AC アダプタのコードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。⚡
- 「つなぎかたガイド」にしたがって接続してください。間違えると正常に動作しなかったり、接続機器が故障することがあります。⚠

⚠ 注 意

その他のご注意

- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用すると、低温やけどになることがあります。
- 皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。
- 小児が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、また、使用の途中においても、指示どおりに使用しているかどうか注意してください。間違った使用はけがの原因となる可能性がありますので十分にご注意ください。
- お客様ご自身で本商品に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 自動車の電子機器に影響が出る場合は、使用しないでください。安全に走行できなくなる恐れがあります。

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところでのご使用は避けてください。
 - ・ 振動が多い場所
 - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
 - ・ 高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 本商品と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項

- 落したり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 持ち歩く際は、AC アダプタ、USB ケーブルを取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、USB ポートの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜き、電源を切ってから行ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分ご注意ください。
- 本商品を返却される場合は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。また、ご利用の UIM カード (SIM) や microSD カードは、確実に抜いてください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

STOP お願い

無線 LAN / LTE/3G に関するご注意

- LTE の通信速度、最大下り 75Mbps/ 上り 37.5Mbps はデータ転送速度の最大値（理論値）であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
同様に、無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製品との相互接続性を保証しておりません。
- サービスエリア外ではご使用になれません。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所（屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では、通信できなかったり通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- LTE/3G および無線 LAN の電波状態や伝送速度は、建物や家具、移動速度などの周辺環境により大きく変動します。

その他のご注意

- 本商品の USB ポートに USB ケーブルを接続する際や接続している間は、本商品に無理な力が加わらないようにしてください。故障や破損の原因となります。
- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。
プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、暗号化キーは定期的に変更することをお勧めします。

リチウムポリマ電池の取り扱いについて

本商品はリチウムポリマの充電電池を内蔵しています。

充電電池は、有機溶媒などの可燃物を使用していますので、取り扱いを誤りますと破裂、発火、発煙の恐れ、性能低下、故障の原因となります。

次の禁止事項を必ずお守りください。

⚠ 警 告

- 本商品は充電電池を内蔵しています。
お客様ご自身では交換できません。交換については、別紙に記載のホームページをご確認ください。
お客様による交換は危険ですから絶対にやめください。 
- 火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、充電電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。  
- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。充電電池に組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、充電電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。  
- 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。充電電池を漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。  

本商品をご使用にならなくなった場合の処分方法について

- 本商品に内蔵されている充電電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。
本商品の廃棄方法は、製品サポートページをご確認ください。 

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	5
リチウムポリマ電池の取り扱いについて	17
目次	18
「㊟機能詳細ガイド」目次	20
本商品に添付の CD-ROM について	21
1 章 準備	
1-1 本商品でできること	1-2
1-2 箱の中身を確認しよう	1-7
1-3 各部の名称とはたらき	1-8
MRO1LN	1-8
クレードル ※オプション品	1-11
1-4 UIM カード (SIM) について	1-12
UIM カード (SIM) を取り付ける	1-12
UIM カード (SIM) を取り外す	1-13
1-5 microSD カードについて	1-14
microSD カードを取り付ける	1-14
microSD カードを取り外す	1-15
1-6 あらかじめ確認してください	1-16
接続端末の準備	1-16
2 章 充電をする	
2-1 電源 ON/OFF のしかた	2-2
2-2 充電のしかた	2-3
充電のしかた	2-3
充電時間	2-5
動作時間	2-5
電池残量	2-5
2-3 ECO 設定	2-6
無線 LAN スリープ	2-6
自動 LED 節電	2-6
自動省電力	2-6
2-4 ロングライフ充電	2-8
ロングライフ充電	2-8
3 章 利用端末を接続する	
3-1 本商品を接続する	3-2
USB で接続する	3-2
クレードル (オプション品) で有線 LAN 接続する	3-4
3-2 無線 LAN を設定する	3-5
3-3 パソコンなどから無線 LAN を簡単に設定する	3-6
らくらく無線スタート/らくらく無線スタート EX /	
らくらく QR スタートを使用して無線設定をする	3-6
WPS 機能を使用して無線設定する	3-7
3-4 無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone から接続する	3-10
3-5 無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する	3-11

3-6	Windows Vista® および Windows® 7/XP の 「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する	3-12
	Windows® 7 の場合	3-13
	Windows Vista® の場合	3-20
	Windows® XP (SP3) の場合	3-27
	本商品との通信状態を確認するには	3-31
3-7	無線 LAN アクセスポイントモードに設定する	3-32
4 章	クイック設定 Web の使いかた	
4-1	クイック設定 Web の使いかた	4-2
	クイック設定 Web をご使用になる前に	4-2
	クイック設定 Web の起動のしかた	4-4
	ポップアップヘルプについて	4-6
5 章	便利な機能	
5-1	公衆無線 LAN サービス	5-2
	接続先設定方法	5-2
5-2	スマートフォンアプリで情報を見る	5-4
	情報表示	5-4
5-3	USB 給電機能	5-6
5-4	その他の便利な機能	5-7
	VPN パススルー機能	5-7
	IP パケットフィルタリング	5-7
	ポートマッピング	5-7
	UPnP 機能	5-7
6 章	セキュリティ対策をする	
6-1	セキュリティ対策をする	6-2
	セキュリティ機能について	6-2
7 章	バージョンアップをする	
7-1	ファームウェアをバージョンアップする	7-2
	ファームウェアをバージョンアップする	7-2
	ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする	7-7
8 章	お困りのときには	
8-1	トラブルシューティング	8-2
	LTE/3G に関するトラブル	8-3
	公衆無線 LAN サービスに関するトラブル	8-12
	クレードル（オプション品）に関するトラブル	8-12
	添付の CD-ROM に関するトラブル	8-12
8-2	初期化する	8-13
	クイック設定 Web で初期化する	8-13
	RESET スイッチで初期化する	8-14
9 章	付録	
9-1	製品仕様	9-2
	MRO1LN ハードウェア仕様	9-2
	クレードル仕様 ※オプション品	9-4
9-2	ディスプレイの表示説明	9-5
9-3	索引	9-6

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が別紙に記載のホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

〈機能一覧〉

■ルータ機能■

ブロードバンドルータ機能	アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)
ポートマッピング (アドバンスド NAT オプション)	静的ルーティング
IP パケットフィルタリング	ダイナミックポートコントロール機能
DHCP サーバ機能	DNS フォワーディング
不正アクセス検出機能	通信情報ログ (アクセスログ機能)
無線 LAN アクセスポイントモード (ルータ機能を停止する)	UPnP 機能

■WAN側機能■

VPN パススルー機能	WAN 側回線自動選択機能
-------------	---------------

■LTE/3G■

LTE/3G 機能

■無線機能■

11n テクノロジー無線 LAN	デュアルチャネル
IEEE802.11b 無線 LAN	IEEE802.11g 無線 LAN
暗号化	MAC アドレスフィルタリング機能
ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能	ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)
マルチ SSID	ネットワーク分離機能
オートチャネルセレクト	AirMac 対応のパソコンでインターネット接続
らくらく無線スタート機能	らくらく無線スタート EX 機能
らくらく QR スタート機能	WPS 機能
無線 LAN ステーションモード (公衆無線 LAN サービス機能)	

■microSD■

microSD 機能	SD カードストレージ機能
------------	---------------

■その他の機能■

管理者パスワードの変更	時刻設定
通信確認 (疎通確認テスト)	情報表示 (装置情報、状態表示)
ファームウェアの更新	USB 給電機能

〈クイック設定 Web の使い方〉

〈無線機能の使い方〉

機能一覧 (無線)	クイック設定 Web の使い方 (無線)
無線セキュリティ	

〈高度な使い方〉

外部にサーバを公開する	ネットワーク対応アプリケーション
ファイルとプリンタの共有	

〈充電電池の取り扱い方〉

〈Aterm Mobile Tool の使い方〉

〈お困りのときには〉

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。詳細は、「メニュー画面」の「本 CD-ROM について」をご覧ください。

■ Windows® パソコン

- ① 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行うらくらく無線スタート EX (Windows Vista® および Windows® 7/XP (SP2/SP3) のみ)
- ② 本書 (PDF ファイル)

【ご使用上のご注意】

- 添付の CD-ROM をセットして [自動再生] 画面が表示されたら、[Menu.exe の実行] をクリックしてください。
- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
 - ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) をクリックし、[すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [ファイル名を指定して実行] を選択する
※ Windows® XP の場合は、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
 - ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、[OK] をクリックする (例: CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥menu.exe)
- CD-ROM をパソコンから取り出すときは、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
- Windows Vista® および Windows® 7/XP でユーティリティのアンインストールを実行する場合は、Administrator 権限のあるユーザでログオンしてください。
- らくらく無線スタート EX は、音声ガイドでも設定の説明をしています。パソコンの音声を ON (適正な音量) にしてご利用ください。

CD-ROM の動作環境

- 下記の OS が正しく動作し、CD-ROM が使用できること。
 - ・ Windows® 7 の日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版
 - ・ Windows Vista® または Windows® XP (SP2/SP3) の日本語版かつ 32 ビット (x86) 版
- 推奨環境
 - ・ Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
 - ・ ハードディスク容量：40MB 以上を推奨
 - ・ メモリ容量：Windows® 7/Windows Vista® の場合は、2GB 以上を推奨
Windows® XP の場合、512MB 以上を推奨
 - ・ 800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニター
上記以外でも設定できますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

■ Mac パソコン

- ① 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行うらくらく無線スタート EX (Mac OS X v10.5/v10.6 の日本語版かつ Intel 製 CPU 搭載製品のみ)
- ② 本書 (PDF ファイル)

【ご使用上のご注意】

- らくらく無線スタート EX を使用する場合、添付の CD-ROM をセットしたら、CD-ROM 内の「mac_rakuraku」フォルダにある「らくらく無線スタート EX」アイコンをお使いの Mac パソコンにドラッグアンドドロップしてください。
設定手順は、別紙に記載のホームページをご覧ください。

CD-ROM の動作環境

- 下記の OS が正しく動作し、CD-ROM が使用できること。
Mac OS X v10.5 (Intel) / v10.6 (Intel) の日本語版
(PowerPC 搭載機種では動作しませんのでご注意ください。)

- 推奨環境

- < Mac OS X v10.5 (Intel) >
CPU : Intel Core 2 Duo/2GHz 以上
メモリ : 1GB 以上
USB インタフェース : USB 2.0
- < Mac OS X v10.6 (Intel) >
CPU : Intel Core 2 Duo/2GHz 以上
メモリ : 1GB 以上
USB インタフェース : USB 2.0

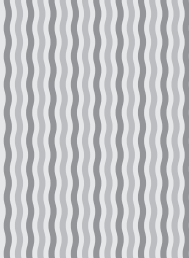
- 表示画面

- ・サイズ : 800 × 600 ピクセル以上
 - ・色 : High-Color (24 ビット) 以上
- 上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

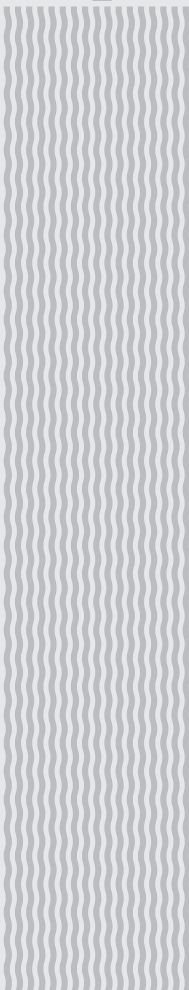


お知らせ

- PDF 形式のファイルをお読みいただくためには、Acrobat Reader 5.0 以上が必要です。
Adobe Reader または Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。
- 本商品の対応 OS については、P1-16 を参照してください。



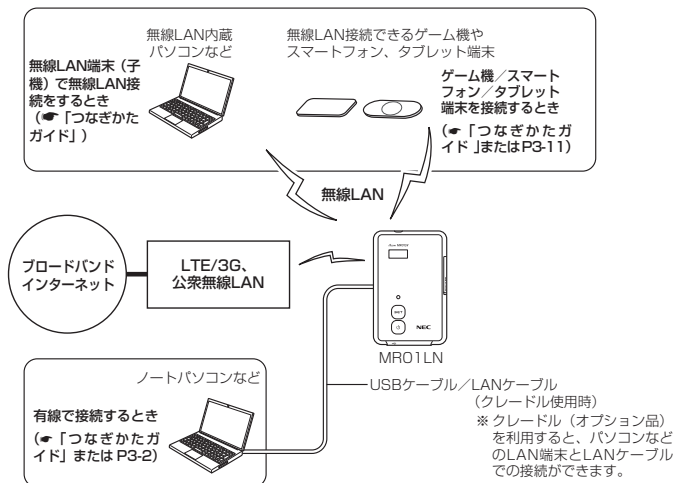
1



準備

- 1-1 本商品でできること 1-2
- 1-2 箱の中身を確認しよう 1-7
- 1-3 各部の名称とはたらき 1-8
- 1-4 UIM カード（SIM）について 1-12
- 1-5 microSD カードについて 1-14
- 1-6 あらかじめ確認してください 1-16

本商品は、LTE/3G 基地局と接続し、複数の無線 LAN 端末が同時にインターネットを利用できるようたばねるモバイルルーターです。



インターネットに接続するまでの手順や無線 LAN 設定については、「つなぎガイド」を参照してください。

さらに本商品では、ホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

■ 外出先や移動中に使う

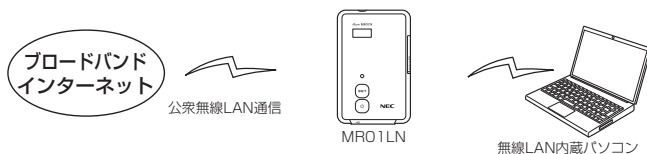
本商品は、外出先や移動中でも、LTE/3G にワイヤレスで接続してインターネットを利用することができます。

- ※ 満充電からの電池動作時間は、最大 6 時間（LTE 接続時）となります。
充電電池の充電状態、気温などの使用環境、利用場所の電波状態などにより、利用時間は変わります。
- ※ 電池残量はディスプレイの電池状態で確認することができます。（●P2-5）

● 公衆無線 LAN サービス

本商品は、公衆無線 LAN サービスに対応しています。（●P5-2）
公衆無線 LAN サービスエリアの中にいる場合、LTE/3G 網を経由しないでインターネットに接続することができます。

- ※ LTE/3G 契約と別途公衆無線 LAN サービスの契約が必要です。



■無線 LAN 通信

- IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11n に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信を行うことができます。

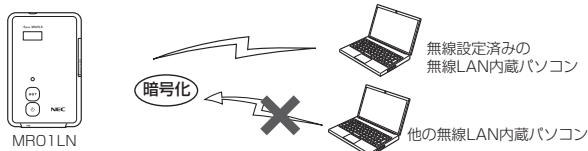
※ 無線で届く範囲は環境によって異なります。

※ IEEE802.11n に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信する場合、伝送速度は最大 150Mbps（規格値）となります。

- 無線 LAN 内のセキュリティ対策

他の無線 LAN パソコンから接続されたり、通信が傍受されるのを防ぎます。（☛P6-2）

※ 本商品にはあらかじめ、プライマリ SSID には AES、セカンダリ SSID には WEP の暗号化キーが設定されており、セキュリティがほどこされています。



- 無線 LAN 端末（子機）を増設する（☞機能詳細ガイド）

無線 LAN 端末（子機）として別売りの次の機器をご利用いただけます。

11n テクノロジーでの通信 : WL450NU-AG/WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/
WL300NU-GS/WL300NU-AG/WL300NU-G/
WR9500N/WL300NE-AG

IEEE802.11b 通信 : WL450NU-AG/WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/
WL54GC/WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/
WL300NU-GS/WL300NU-AG/WL300NU-G/WL54SU/
WL54SU2/WL54TU/WR9500N/WL300NE-AG/
WL54TE

IEEE802.11g 通信 : WL450NU-AG/WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/
WL54GC/WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/
WL300NU-GS/WL300NU-AG/WL300NU-G/WL54SU/
WL54SU2/WL54TU/WR9500N/WL300NE-AG/
WL54TE

※ 11n テクノロジーでの通信で WL130NC を増設した場合は、デュアルチャネルモード（HT40）の通信はできません。HT20 での通信になります。

※ 11n テクノロジーでの通信では、周辺の電波環境によってデュアルチャネルモード（HT40）での通信ができない場合があります。

※ 11n テクノロジーでの通信のとき、WL300NU-AG、WL300NU-G で無線 LAN 接続する場合は、無線 LAN 端末（子機）をパソコンから取り外し、本商品とパソコンを USB ケーブル（添付品）で接続してクイック設定 Web から、暗号化モード「WPA/WPA2-PSK（TKIP）」または「WEP」に変更してから接続してください。

※ WL54AG-SD、WL54AG（S）は WL54AG に含まれます。

※ WR9500N は、無線 LAN 子機（CONVERTER）モードでご使用ください。

※ 接続する無線 LAN 端末（子機）によって通信速度が異なります。

また、本商品が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。）

無線 LAN の同時接続は、最大 12 台です。

- WPS 機能に対応

WPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。（☛P3-7、☞機能詳細ガイド）

設定方法には、SET ボタン（☞）による設定の他、PIN 方式による設定があります。なお、設定するには、無線 LAN 端末（子機）側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN の接続・セキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

■ セキュリティ対策をする

ルータ機能により、ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。(㊦機能詳細ガイド)

- ・ IP パケットフィルタリング
- ・ アドバンスド NAT (IP マスカレード / NAPT)
- ・ 不正アクセス検出機能
- ・ ダイナミックポートコントロール機能

■ マルチ SSID

本商品では 2 つの SSID (プライマリ / セカンダリ) を利用可能です。(㊦機能詳細ガイド)

● プライマリ SSID

(初期値: 無線 LAN 設定ラベル*に記載されている「ネットワーク名 (SSID)」、
aterm-xxxxxx-g)

※無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。(初期値は AES)

● セカンダリ SSID

(初期値: 無線 LAN 設定ラベル*に記載されている「ネットワーク名 (SSID)」の
末尾に「-gw」がついたもの、aterm-xxxxxx-gw)

※無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。(初期値は 128bitWEP)

※セカンダリ SSID には、工場出荷時の状態でネットワーク分離機能(●P1-5)が設定されているため、下記の制限があります。

・ クイック設定 Web が表示できない

・ 本商品にプライマリ SSID で接続された端末と通信できない。

制限を解除したい場合は、プライマリ SSID に接続した無線 LAN 端末 (子機) から、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」→「無線 LAN 設定」の「対象ネットワークを選択」でセカンダリ SSID を選択し、[無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定] で [ネットワーク分離機能] を [使用しない] に設定してください。

(㊦機能詳細ガイド)

両 SSID は同時に動作しているため、AES を利用可能な無線 LAN 端末 (子機) と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な無線 LAN 端末 (子機) が共存可能です。

なお、らくらく無線スタート利用時には、無線 LAN 端末 (子機) の無線 LAN 規格に応じて、どちらの SSID に接続するかは自動選択・設定されますので、通常、2 つの SSID の存在を意識していただく必要はありません。

■ デュアルチャネル

本商品では、無線 LAN 通信で利用する通信チャネルの幅を、従来の 20MHz 幅から 40MHz 幅に拡大することにより、従来比約 2 倍の通信速度（理論値最大 150Mbps）を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。（初期値は「使用する」）

本商品でデュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz 帯（計 13 チャンネル）です。（㊟機能詳細ガイド）

11n テクノロジーでの通信では、周辺の電波環境によってデュアルチャネルモード（HT40）での通信ができない場合があります。

■ オートチャネルセレクト

本商品の起動時や無線 LAN 設定を変更した場合に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、2.4GHz 帯で電波状態の良いチャネルを自動選択します。（初期値は「使用する」）（㊟機能詳細ガイド）

■ ネットワーク分離機能

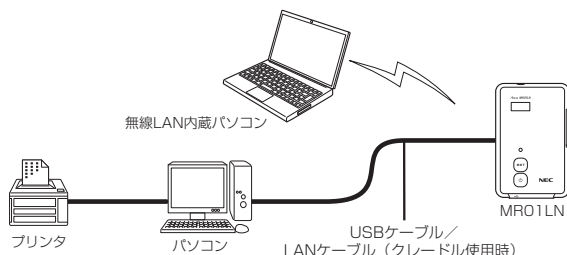
本商品の「クイック設定 Web」および他の SSID 側の無線 LAN 端末へのアクセスを制限する機能です。（㊟機能詳細ガイド）

ネットワーク分離機能を「使用しない」に設定すると、ゲーム機などのセカンダリ SSID に接続する機器からも「クイック設定 Web」にアクセスすることができます。

■ ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

本商品に接続されたパソコンどうしてファイルのやりとりができます。また、他のパソコンに接続されているプリンタを利用できます。

（㊟機能詳細ガイド）



※本商品の機能ではありません。Windows® の共有機能の設定になります。

■ ゲーム機やスマートフォン、タブレット端末を接続する

Wii、ニンテンドー 3DS、「プレイステーション 3」、PlayStation® Vita および Xbox 360 などネットワークゲーム機を接続することができます。（➡P3-11）

また、スマートフォンやタブレット端末を接続できます。動作確認済みの端末については、別紙に記載のホームページをご確認ください。

■ ECO 設定

無線 LAN 機能の一部を制限することで、消費電力を抑えることができます。クイック設定 Web で設定します。(●P2-6、㊟機能詳細ガイド)

● 無線 LAN スリープ

USB ケーブル (黒) で接続して通信する場合、無線 LAN 機能をスリープさせます。
(初期値：使用しない)

● 自動 LED 節電

電池動作中に、POWER ランプを周期的に消灯させることで消費電力を抑えます。(初期値：使用する)

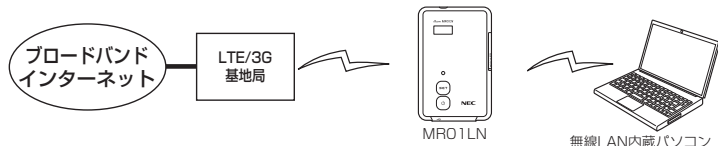
● 自動省電力

無線 LAN 通信において一定時間無通信の場合、スリープやスタンバイに移行し消費電力を抑えます。(初期値：スリープ)

■ パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

- ・ポートマッピングの設定 (●P5-7)
- ・UPnP 機能の設定 (●P5-7)



■ SOHO で使用するとき便利な機能

- 会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する
(VPN (PPTP/IPsec) パススルー機能) (●P5-7、㊟機能詳細ガイド)
VPN (Virtual Private Network: 仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。

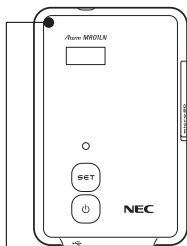
■ 知っておくと便利な機能

- バージョンアップする (●P7-2)
ファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。
- 設定を保存する (㊟機能詳細ガイド)
クイック設定 Web で、現在の設定内容を保存できます。本商品を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから本商品に設定内容を復元することができます。
- 初期化する (●P8-13)
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度はじめてから設定したいときにお使いいただけます。

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

● 構成品

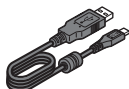
☐ MR01LN



保護シートが貼ってあります。
はがしやすく加工していますので、ここからはがしてください。

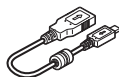
☐ USB ケーブル (黒)

本商品を充電、パソコンと接続する際に使用します。



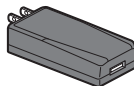
☐ USB ケーブル (白)

スマートフォンなどに給電する際に使用します。(●P1-10、5-6)



☐ AC アダプタ

本商品を充電する際に使用します。(●P2-3)



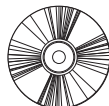
(品番：AL1-003456)
※ AC アダプタの形状は変更になる場合があります。

☐ つなぎかたガイド (別紙)



☐ CD-ROM

らくらく無線スタート EX や取扱説明書 (本書) を収録しています。(●P21)

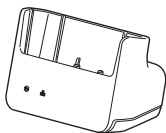


☐ 保証書 (別紙)

☐ 安全にお使いいただくために (別紙)

● 構成品 (クレードル) ※オプション品

☐ クレードル



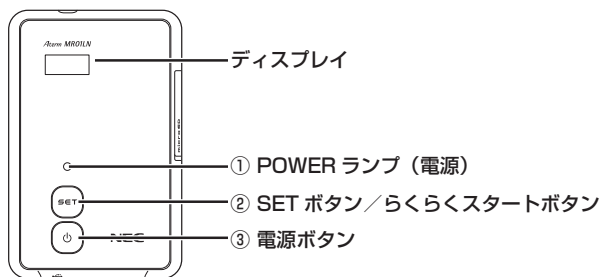
☐ LAN ケーブル



☐ 取扱説明書 (クレードル用)

☐ 保証書 (別紙)

MRO1LN



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	状態
①POWER ランプ (電源)	緑 (点灯)	電源が入っているとき
	緑 (点滅)	らくらく無線スタートで設定しているとき
	緑 (早い点滅)	起動中
	緑橙 (点滅)	WPS で設定しているとき
	緑赤 (点滅)	新しいファームウェアがあるとき (●P7-2)
	緑 (遅い点滅)	スリープ中
	緑 (点滅)	自動 LED 節電中
	橙 (点灯)	ファームウェアをバージョンアップしているとき
		らくらく無線スタートで設定が完了したとき (10 秒点灯)
		WPS で設定が完了したとき (10 秒点灯)
		充電中
	橙 (点滅)	らくらく無線スタートで設定しているとき
	赤 (点灯)	らくらく無線スタートで設定に失敗したとき (10 秒点灯)
		ファームウェアのバージョンアップに失敗したとき
		電源 ON から電源 OFF へ移行するとき
		初期化準備状態
	赤 (早い点滅)	WPS で設定が失敗したとき
	消灯	電源 OFF / スタンバイのとき

※工場出荷時の状態で、自動 LED 節電と自動省電力の「スリープ」が設定されています。(●P2-6)
 自動 LED 節電中は、POWER ランプが約 5 秒周期の点滅をしています。(●P2-6)
 スリープ中は、POWER ランプが約 5 秒周期の遅い点滅をしています。(●P2-6)

名称	説明
②電源ボタン 	電源の ON/OFF を行います。 自動 LED 節電、スリープまたはスタンバイから電源 ON (LED 通常点灯) にするときに使用します。

名称	説明
③ SET ボタン／ らくらくスタート ボタン 	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。 (☛「つなぎかたガイド」)
	WPS を設定するときに使用します。
	ファームウェアの更新をするときに使用します。
	自動 LED 節電、スリープから電源 ON (LED 通常点灯) にするときに使用します。
	電池残量の確認をするときに使用します。

【ディスプレイ表示】



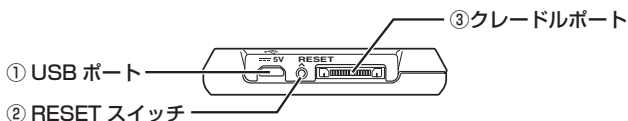
名称	表示	状態	説明
① 電波受信レベル		点灯	LTE/3G 信号の強度を 4 段階で表示します。
		点灯	LTE/3G でインターネット接続ができません。
② 接続状態		点灯	LTE でインターネットに接続しています。※
		点灯	3G でインターネットに接続しています。※
		点灯	公衆無線 LAN でインターネットに接続しています。※
		点灯	有線でインターネットに接続しています。
③ 電波強度		点灯	公衆無線 LAN の電波強度を 4 段階で表示します。
④ microSD カードの状態		点灯	microSD カードが利用可能です。
		点滅	microSD カード装着エラーです。
⑤ 電池状態		点灯	電池残量を 6 段階で表示します。
⑥ 日時／メッセージ	日時とメッセージを表示します。 [9-2 ディスプレイの表示説明] を参照してください。		

※点滅時は接続処理中です。

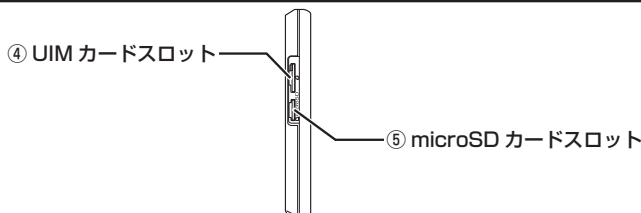


本商品の操作が 15 秒以上なかったときは、本商品のディスプレイ表示が自動的に消えます。再度ディスプレイを表示させるには、いずれかのボタンを押してください。

● 側面図



名称	説明
① USB ポート	USB ケーブル（黒）で AC アダプタを接続して充電するときに使用します。（●P2-3） また、パソコンを USB ケーブル（黒）で接続して LTE/3G で通信するときに使用します。（●P3-2） USB ケーブル（白）でモバイル端末と接続することで、モバイル端末へ電源を供給することが可能です。（スタンバイ／電源 OFF 時のみ）（●P5-6）
② RESET スイッチ	初期化するときに使用します。（●P8-14） ファームウェアの更新をするときに使用します。（●P7-2）
③ クレドールポート	クレドールに接続するときに使用します。 ※クレドールはオプション品です。



名称	説明
④ UIM カードスロット	UIM カード（SIM）を挿入します。
⑤ microSD カードスロット	microSD カードの挿入に使用します。



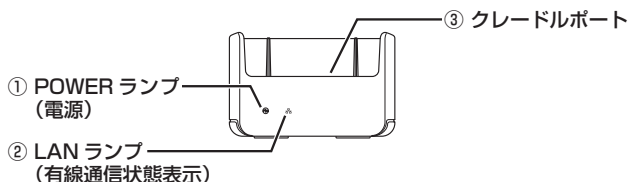
microSD カードの規格は SD Card Specification Ver2.0 に準拠する必要があります。
32GB までのカードがご利用になれます。



お知らせ

- 本商品は工場出荷時の状態で自動 LED 節電と、省電力状態切り替え機能でスリープが設定されています。SET ボタン  を押して一時的に解除した場合、POWER ランプが約 3 分間のみ通常点灯します。
ただし、下記の条件では自動 LED 節電は無効となります。
 - ・ WPS で無線設定を実行中
 - ・ らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を実行中
 - ・ ファームウェアのバージョンアップ中
 - ・ 初期化準備中
- 下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に動作を停止します。
 - ・ 直射日光に当たるところで使用した場合
 - ・ 高温下で充電しながら使用した場合
 - ・ かばんなどに入れて密封して使用した場合
 その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。

クレードル ※オプション品



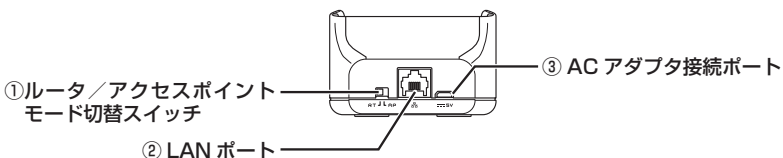
【ランプ表示】

ランプの種類	色	状態	本商品の状態
①POWER ランプ (電源) 	緑	点灯	AC アダプタで給電しているとき
	—	消灯	AC アダプタで給電していないとき
②LAN ランプ (有線通信状態表示) 	緑	点灯	LAN ポートのリンクが確立しているとき
	緑	点滅	LAN ポートがデータ送受信しているとき
	—	消灯	LAN ポートのリンクが確立していないとき

【クレードルポート】

名称	説明
③クレードルポート	MRO1LN を接続します。

● 背面図



名称	説明
①ルータ／アクセス ポイントモード 切替スイッチ	無線 LAN アクセスポイントモード (AP 側) へ切り替えることにより、LTE/3G / 公衆無線 LAN / ルータ機能を停止させます。 ※ 工場出荷時は、ルータモード (RT 側) です。
②LAN ポート	LAN ケーブルで、パソコンまたはゲーム機などと接続します。
③AC アダプタ接続 ポート	AC アダプタを接続して充電するときに使用します。(●P2-4)



お知らせ

- AC アダプタ接続ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブル(添付品)で接続しても、USB ケーブル経由で通信はできません。

本商品をご利用になるお客様に貸与されている IC カードのことを UIM カード (SIM) といい、お客様の電話番号などの情報が記録されています。本商品を使用するには UIM カード (SIM) を本体に取り付ける必要があります。UIM カード (SIM) を取り付けないと、LTE/3G でのデータ通信などをご利用できません。詳しい取り扱いについては、UIM カード (SIM) の取扱説明書を参照してください。

※ 標準サイズ (25mm × 15mm) の UIM カード (SIM) 以外は絶対に使用しないでください。機器が故障する場合があります。

※ アダプタなどを利用した場合、動作保証はいたしかねます。



本商品の電源が入っている状態では、絶対に取り付け、取り外しは行わないでください。故障、破損の原因となります。

万一、UIM カード (SIM) を取り外してしまった場合には、次の操作を行ってください。

1. 本商品の電源を切る
・ USB ケーブルが接続されている場合は取り外してください。
2. カードカバーを開く
3. UIM カード (SIM) を取り付ける
4. カードカバーを閉じる
5. 本商品の電源を入れる

UIM カード (SIM) を取り付ける

1 本商品の電源が入っているときは、POWER ランプが赤点灯するまで電源ボタン  を長押しして電源を切る

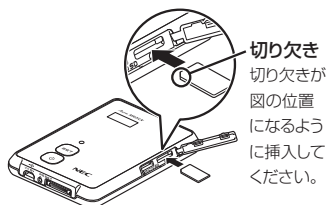
2 本商品と USB ケーブル／クレードルが接続されているときは取り外す

3 カードカバーを開く

カードカバーを無理に押し曲げないでください。極端に折り曲げた状態にすると、カードカバーを破損する恐れがあります。

4 UIM カード (SIM) の IC (金色) 部分を下にして、UIM カード (SIM) をカチッと音がするまで挿入する

UIM カード (SIM) の取り付け／取り外しのときは、IC 部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。



5 UIM カード (SIM) が完全に挿入されていることを確認する

6 カードカバーを閉じる



UIMカード (SIM) を取り外す

1 本商品の電源が入っているときは、POWER ランプが赤点灯するまで電源ボタン^⑤を長押しして電源を切る

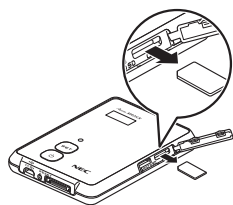
2 本商品と USB ケーブル／クレードルが接続されているときは取り外す

3 カードカバーを開く

カードカバーを無理に押し曲げないでください。極端に折り曲げた状態にすると、カードカバーを破損する恐れがあります。

4 UIMカード (SIM) をカチッと音がするまで押し込み、少し押し下げながらゆっくり戻す

UIMカード (SIM) が少し出てきます。



5 少し出てきた UIMカード (SIM) を矢印の方向へ取り外す

6 カードカバーを閉じる



取り外した UIMカード (SIM) は紛失しないようご注意ください。

本商品に microSD カードを取り付けると、USB ケーブルで接続したパソコンや無線 LAN 端末から本商品を SD カードストレージとして利用することができます。

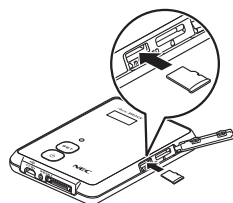
本商品では、メモリ容量が最大 2GB までの microSD カードと、最大 32GB までの microSDHC カードに対応していますが、市販されているすべての microSD カードの動作を保証するものではありません。

microSD カードを使用する場合は、本商品に取り付けてください。

ご利用の microSD カードがフォーマットされていない場合は、フォーマットが必要です。フォーマットの方法については「④機能詳細ガイド」を参照してください。

microSD カードを取り付ける

- 1 本商品の電源が入っているときは、POWER ランプが赤点灯するまで電源ボタン⑤を長押しして電源を切る
- 2 本商品と USB ケーブル／クレードルが接続されているときは取り外す
- 3 カードカバーを開く
カードカバーを無理に押し曲げないでください。極端に折り曲げた状態にすると、カードカバーを破損する恐れがあります。
- 4 金属端子を下に向けて、microSD カードをカチッと音がするまで挿入する
- 5 microSD カードが完全に挿入されていることを確認する
- 6 カードカバーを閉じる



microSD カードがカチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。確実にロックされる前に指を離すと、microSD カードが飛び出す可能性がありますのでご注意ください。また、microSD カードを取り付けるときは、microSD カードスロットを顔などの方に向けないでください。

microSD カードを取り外す



使用中に、microSD カードを取り外さないでください。保存されているデータが破損したり、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりする恐れがあります。クイック設定 Web で microSD へのアクセスを停止することができます。(🔗機能詳細ガイド)

1 本商品の電源が入っているときは、POWER ランプが赤点灯するまで電源ボタン🔘を長押しして電源を切る

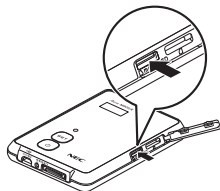
2 本商品と USB ケーブル／クレードルが接続されているときは取り外す

3 カードカバーを開く

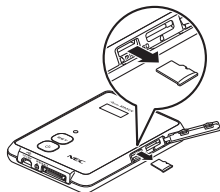
カードカバーを無理に押し曲げないでください。極端に折り曲げた状態にすると、カードカバーを破損する恐れがあります。

4 microSD カードをカチッと音がするまで押し込み、ゆっくり戻す

microSD カードが少し出てきます。



5 少し出てきた microSD カードを矢印の方向へ取り外す



6 カードカバーを閉じる



●microSD カードが出てきてもすぐに指を離さないようにしてください。急に指を離すと、microSD カードが飛び出す可能性がありますのでご注意ください。また、microSD カードを取り外すときは、microSD カードスロットを顔などの方に向けしないでください。

●取り外した microSD カードは紛失しないようご注意ください。

●microSD カードにアクセス中は、絶対にカードを取り出さないでください。データを消失する恐れがあります。

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

接続端末の準備

お使いの接続端末が本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- ・ WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること (●P1-19)
- ・ ファイアウォールなど、すべてのソフトを停止
本商品設定の前に、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したまま）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- ・ クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておくこと (●P1-20)

〈USB で接続する場合〉

- ・ USB ポート (USB2.0) が装備されていること
※ USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。

〈無線 LAN で接続する場合〉

- ・ 無線 LAN が装備されていること

〈クレードル (オプション品) を使用して LAN ポートに有線で接続する場合〉

- ・ LAN ポートが装備されていること
- ・ TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- ・ パソコンのネットワーク設定を確認すること (●P1-17)

〈接続可能な機器〉

OS など	無線 LAN 接続	USB 接続
Windows®	○	○
Macintosh	○	○
その他 OS (Linux など)	○	×
ゲーム機 / スマートフォンなど	○	×

※ Windows® 7 をご利用の場合

本商品は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版のみに対応しています。

本商品の Windows® 7 のサポートは、Windows® 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows® 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

※ Windows Vista® をご利用の場合

本商品は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版のみに対応しています。

Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコンまたはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。自作のパソコンはサポートしておりません。

※ Windows® XP をご利用の場合

本商品は、Windows® XP (SP2/SP3) を使用した無線 LAN 接続のみに対応しております。

※ Mac OS をご利用の場合

本商品は、Mac OS X v10.5 (Intel) / v10.6 (Intel) の各日本語版のみに対応しています。PowerPC 搭載機種には対応していません。

お願い

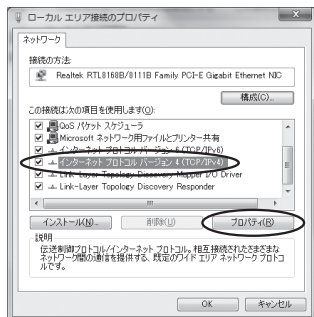
- OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページから本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認（有線接続の場合）

パソコンのネットワークの設定が、Windows[®] の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows[®] 7/Windows Vista[®] の場合

- 1 [スタート] (Windows[®] のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックする
※ Windows Vista[®] の場合は、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
※ 有線接続の場合は [ネットワーク接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 4 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする
- 5 [インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



(画面は Windows[®] 7 の例です。)

- 6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 7 [OK] をクリックする
- 8 [閉じる] または [OK] をクリックする

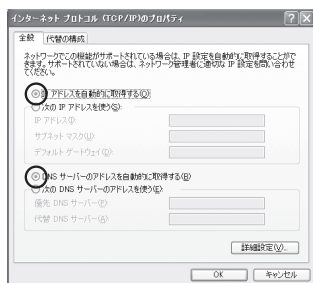


お知らせ

- Windows[®] 7/Windows Vista[®] の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows[®] 7 の通常表示モード (カテゴリ表示)、Windows Vista[®] の通常表示モード (コントロールパネルホーム) を前提に記述しています。

Windows® XP をご利用の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] または [閉じる] をクリックする



お知らせ

- Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリ表示）を前提に記述しています。

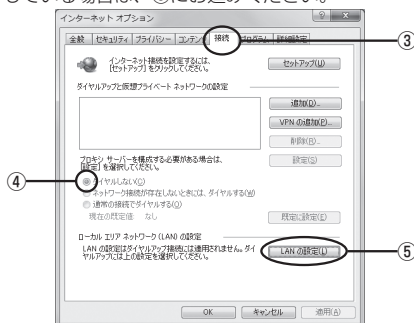
WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

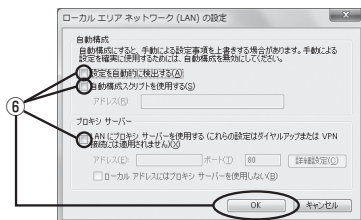
以下は Windows[®] 7 で Internet Explorer 9.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- ① Internet Explorer を起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。

※ グレーアウトしている場合は、⑤にお進みください。



- ⑤ [LAN の設定] をクリックする。
- ⑥ [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LAN にプロキシサーバーを使用する] の ☒ を外して [OK] をクリックする。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



- ⑦ [OK] をクリックする。

お知らせ

- プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript の設定を有効にしてください。

Internet Explorer をご利用の場合 (Windows® 版)

以下は、Windows[®] 7 で Internet Explorer 9.0 を使用している場合の例です。なお、Windows Vista[®] および Windows[®] XP で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

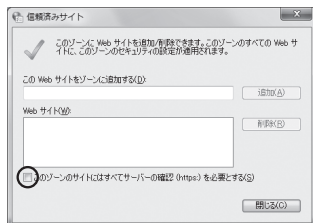
- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] をクリックする

※ Windows Vista® または Windows® XP をご利用の場合は、[スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [クラシック表示] (または [クラシック表示に切り替える]) - [インターネットオプション] をクリックします。

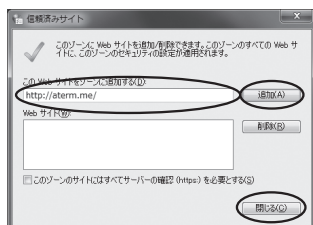
- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

- ② [サイト] をクリックする

- 4 ± [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す



- 5 [この Web サイトをゾーンに追加する] に「http://aterm.me/」を入力し [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする

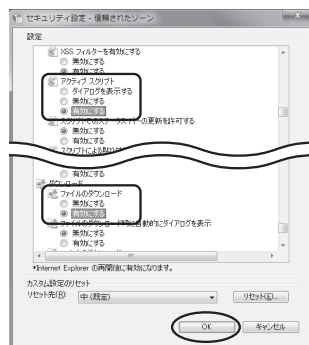


※ クイック設定 Web による初期化 (P8-13) を行くと、再起動後は自動的に本商品の工場出荷時の IP アドレス (192.168.179.1) でクイック設定 Web 画面が開きますので、本商品の IP アドレス「http://192.168.179.1/」も追加することをお勧めします。

※ IP アドレス (工場出荷時は 192.168.179.1) を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。(例: 「http://192.168.179.1」) IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

- 6 [レベルのカスタマイズ] をクリックする

- 7 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] と [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



- 8 [はい] をクリックする

- 9 [適用] をクリックする

- 10 [OK] をクリックする

Firefox をご利用の場合 (Windows® 版)

以下は、Windows® 7 で Firefox 9.0 を使用している場合の例です。

- 1 Firefox を起動する
- 2 メニューバーの [ツール] - [オプション] をクリックする
- 3 [コンテンツ] をクリックする
- 4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる
- 5 [OK] をクリックする



Google Chrome をご利用の場合

以下は、Windows[®] 7 で Google Chrome 11 を使用している場合の例です。

- 1 Google Chrome を起動する
- 2 [Google Chrome の設定] - [オプション] をクリックする
- 3 [高度な設定] をクリックする
- 4 「プライバシー」にある [コンテンツの設定…] をクリックする
- 5 [Javascript] で「すべてのサイトで Javascript の実行を許可する (推奨)」を選択する



- 6 Google Chrome を閉じる

Safari をご利用の場合 (Mac 版)

以下は、Mac OS X v10.6 で Safari 5.0 を使用している場合の例です。

- 1 Safari を起動する
- 2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする
- 3 [セキュリティ] をクリックする
- 4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる
- 5 メニューバーの [Safari] から [Safari 終了] をクリックし、Safari を終了させる

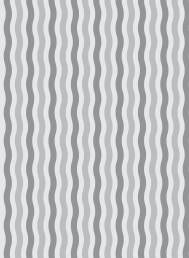


iOS で Safari をご利用の場合

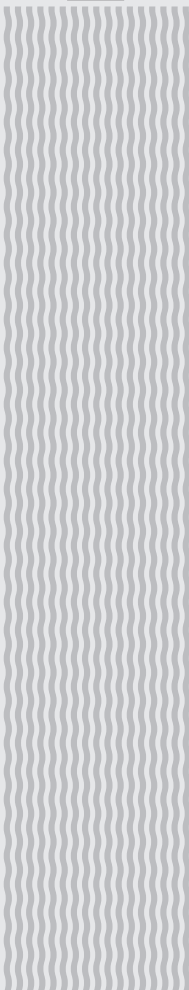
以下は iOS 4.2 で Safari 5.0 を使用している場合の例です。

- 1 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする
- 2 設定メニューの「Safari」をタップする
- 3 [JavaScript] ボタンが「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする

MEMO



2



充電をする

2-1	電源 ON/OFF のしかた	2-2
2-2	充電のしかた	2-3
2-3	ECO 設定	2-6
2-4	ロングライフ充電	2-8

電源の ON/OFF は、本商品の電源ボタンで行います。

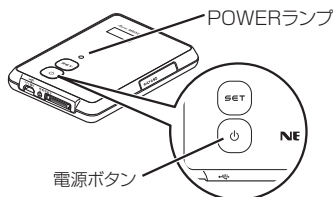
電源を ON にする場合は、POWER ランプが緑点滅するまで電源ボタンを押してください。起動完了するまでに約 1 分かかります。

POWER ランプが緑点灯し、ディスプレイが表示されます。

電源 OFF にする場合は、POWER ランプが赤点灯するまで電源ボタンを長押しし、赤点灯したら放します。POWER ランプが消灯し、電源 OFF になります。

電源ボタンを押している途中で、POWER ランプが消灯しますが、そのまま押し続けてください。

POWER ランプが消灯した時点で電源ボタンを放すとスタンバイ(●P2-7)になります。スタンバイから電源 OFF する場合は、いったん POWER ランプが緑点灯して(電源 ON の状態に戻して)から電源 OFF します。



お知らせ

- 電源を ON にしても POWER ランプが緑点滅しない場合は、AC アダプタで充電してから電源を入れ直してください。充電は約 4.5 時間で完了します(電源 OFF で電池残量がない状態から充電した場合)。
- 電源を ON にしようとして POWER ランプが赤点灯する場合は、電池残量が残っていない状態です。AC アダプタを接続するか、充電を完了してから電源を入れ直してください。
- 本商品は工場出荷時の状態で、自動 LED 節電と自動省電力の「スリープ」が設定されています。起動後、約 3 分間は電源 ON (POWER ランプが通常点灯) になります。その後、POWER ランプが約 5 秒周期の点滅を繰り返します。

本商品の充電は、添付の AC アダプタで充電することができます。また、充電しながら無線 LAN 端末の利用ができます。ただし、充電時間が長くなります。

添付の AC アダプタや専用のクレードルを使用して充電してください。

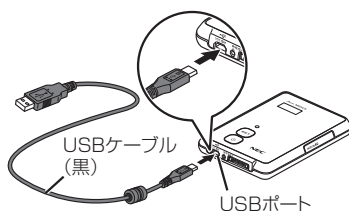
- ※ 充電は、USB ケーブル経由でパソコンの USB ポートからの充電も可能です。なお、USB ポートからの充電は、AC アダプタを使用した場合よりも充電時間が長くなります。
- ※ 満充電したい場合、ロングライフ充電を設定しているときは、設定を「使用しない」にして充電してください。
- ※ 低温または高温の環境では、本体の保護のため充電が中止されます。充電は 0℃～35℃の環境で行ってください。
- ※ 本商品の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

充電のしかた

本体に直接接続する場合

- 1 USB ポートに、USB ケーブル（黒）の microUSB コネクタを接続する

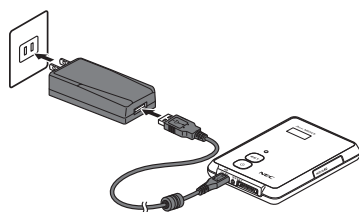
※USB コネクタは USB マークのついている面が上です。



- 2 もう一方のコネクタを AC アダプタに接続して、AC アダプタの電源プラグを電源コンセントに接続する

※USB コネクタは USB マークのついている面が上です。

※AC アダプタが抜けないようにご注意ください。



AC アダプタおよび USB ケーブル（黒）は、必ず本商品に添付のもの（ラベルに「AL1-003456」と記載されているもの）をお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタおよび USB ケーブル（黒）は、他の製品に使用しないでください。

- 3 POWER ランプが橙点灯することを確認する

充電は約 4.5 時間で完了します。（電源 OFF で、電池残量がない状態から充電した場合）

充電が完了すると、POWER ランプが消灯（電源 OFF / スタンバイ時）または緑点灯（電源 ON 時）に変わります。

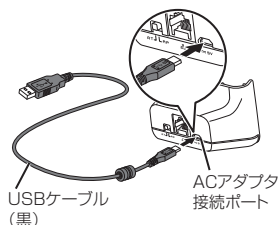
POWERランプ
橙点灯



クレードルに接続する場合 ※クレードルはオプション品です。

1 クレードルの AC アダプタ接続 ポートに USB ケーブル（黒）の microUSB コネクタを接続する

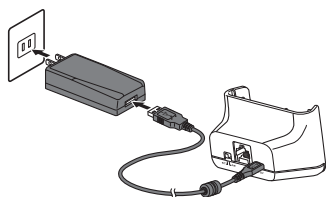
※USB コネクタは USB マークのついでいる面が上です。



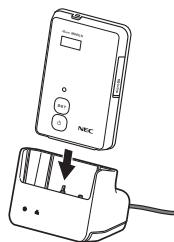
2 もう一方のコネクタを AC アダプタに接続して、AC アダプタの電源プラグを電源コンセントに接続する

※USB コネクタは USB マークのついでいる面が上です。

※AC アダプタが抜けないようにご注意ください。



3 本体をクレードルに奥まで確実にセットする



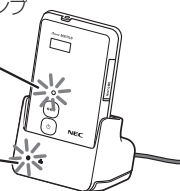
4 本体の POWER ランプが橙点灯し、クレードル側の POWER ランプが緑点灯する

充電は約 4.5 時間で完了します。（電源 OFF で、電池残量がない状態から充電した場合）

充電が完了すると、本体の POWER ランプが消灯（電源 OFF / スタンバイ時）または緑点灯（電源 ON 時）に変わります。

本体POWERランプ
橙点灯

クレードル
POWERランプ
緑点灯



お願い

●USB コネクタの表と裏を逆にすると接続できません。無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。

充電時間

AC アダプタでの充電時間（電池残量がない状態から満充電となるまで）は、約 4.5 時間です。

動作時間

満充電からの電池動作時間は、最大 6 時間となります。（LTE 接続時）
充電電池の充電状態、気温などの使用環境、利用場所の電波状態などにより、利用時間は変わります。

電池残量

SET ボタン  を押して電池残量を確認することができます。スタンバイのときに SET ボタン  を短押しするとディスプレイに電池状態が表示され、電池残量が確認できます。（☛「つなぎかたガイド」）

また、クイック設定 Web 画面で確認することができます。「ECO 設定」－「ECO 設定」の【電池残量】で確認します。

※ ディスプレイの電池残量表示やクイック設定 Web ページで確認できる電池残量の％値は、機器の動作状態（AC アダプタ給電、USB 給電、送信出力、通信量）によって大きく変動する場合があります。実際の電池残量を保証するものではありません。電池を充電するタイミングの参考にお使いください。

※ クイック設定 Web ページで確認できる電池残量の％値は、充電中は表示できません。

スマートフォンアプリで確認することもできます。（☛P5-4）



お知らせ

- 充電電池は消耗します。
充電や使用方法によって、劣化しやすくなります。
 - ・ 満充電を繰り返すと劣化が早くなりますので、1 目盛りになってからの充電をお勧めします。また、「ロングライフ充電」機能をご活用ください。
 - ・ 高温になる場所では、劣化が早くなります。涼しい場所で保管してください。
 - ・ 落とさないでください。強い衝撃を与えると、激しく劣化したり、故障の原因となります。
- 充電電池は、お客様で自身で交換することはできません。交換については、別紙に記載のホームページをご確認ください。
- 一部の動作中においては、充電中であっても POWER ランプが橙点灯せず、動作中のランプ表示が優先される場合があります。

無線 LAN スリープ

本商品を USB ケーブル（黒）で接続して通信する場合、無線 LAN 機能をスリープさせて消費電力を抑えます。

クイック設定 Web 画面で設定できます。「詳細設定」－「その他の設定」の「USB 接続時設定」で設定します。初期値は「使用しない」です。

自動 LED 節電

電源を入れてから約 3 分が経過すると、POWER ランプの点灯時間を短くして消費電力を抑えます。

LTE/3G 接続を利用できます。AC アダプタ接続、USB 接続およびクレードル接続している場合は、自動 LED 節電は無効となります。

クイック設定 Web 画面で設定できます。「ECO 設定」－「ECO 設定」の「自動 LED 節電」で設定します。初期値は「使用する」です。

自動 LED 節電に設定しているときは、POWER ランプは約 5 秒周期の点滅を繰り返します。

自動省電力

本商品の電源を入れ、起動完了してから USB / クレードルの接続、無線 LAN 接続がない場合、一定時間（初期値：10 分）が経過すると設定した省電力状態に移行し、消費電力を抑えます。

クイック設定 Web 画面で設定できます。「ECO 設定」－「ECO 設定」の「省電力状態切り替え機能」で設定します。

設定は、「スリープ」「スタンバイ」「電源 OFF」「使用しない」から選択できます。

工場出荷時は「スリープ」に設定されています。

「スリープ」「スタンバイ」「電源 OFF」を選択した場合は、選択した状態に移行する時間を「省電力状態切り替え設定時間」にて設定します。初期値は「10 分」です。

スリープ

POWER ランプが約 5 秒周期の遅い点滅になり、LTE/3G 接続は切断されます。なお、無線 LAN 端末（子機）の検出状況によっては、スリープに入るまでの時間が設定している時間よりも長くなる場合があります。

※ 一部の無線 LAN 端末（子機）では、無通信でも接続が維持されてしまい、一定時間が経過してもスリープに入らない場合があります。そのときは、子機側の無線 LAN 接続を OFF にしてください。

AC アダプタ接続、USB 接続およびクレードル接続している場合は、スリープは無効となります。

＜スリープに設定するには＞

工場出荷時は「スリープ」に設定されています。

クイック設定 Web 画面で設定できます。「ECO 設定」－「ECO 設定」の[自動省電力設定]－[省電力状態切り替え機能]で設定します。

[省電力状態切り替え設定時間]でスリープに移行する時間を設定します。初期値は「10分」です。

＜スリープからの復帰＞

スリープからの復帰は、USB / クレードル、AC アダプタの接続、無線 LAN 端末（子機）を接続した場合、または SET ボタン  / 電源ボタン  を押したときに復帰します。

SET ボタン  / 電源ボタン  を押すと電源 ON になります。

スタンバイ

POWER ランプが消灯し、LTE/3G 接続は切断されます。スタンバイのときに SET ボタン  を短押しすると、ディスプレイの電池状態で電池残量を確認することができます。

＜スタンバイに設定するには＞

電源ボタン  を押して、スタンバイに移行できます。電源 ON (LED 通常点灯) のときに、2 秒以上電源ボタン  を押して POWER ランプが消灯したら放します。

クイック設定 Web 画面で設定できます。「ECO 設定」－「ECO 設定」の[自動省電力設定]－[省電力状態切り替え機能]で「スタンバイ」を選択します。

[省電力状態切り替え設定時間]でスタンバイに移行する時間を設定します。初期値は「10分」です。

＜スタンバイからの復帰＞

POWER ランプが緑点灯するまで電源ボタン  を押してください。約 10 秒で、電源 ON になります。



お知らせ

- 自動 LED 節電は、下記の条件では無効となります。
 - ・ WPS で無線設定を実行中
 - ・ らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を実行中
 - ・ ファームウェアのバージョンアップ中
 - ・ 初期化準備中
- 無線 LAN 端末（子機）がスリープや画面表示が消えただけの状態の場合、本商品がスリープにならない場合があります。そのときは、無線 LAN 端末（子機）側の無線 LAN 接続を OFF にしてください。
- スタンバイのときは、POWER ランプが消灯し、電源が入っていないように見えます。電源が入っていない状態かスタンバイかを確認するときは、SET ボタン  を短押ししてください。ディスプレイで電池残量の確認ができればスタンバイです。
- 省電力状態切り替え設定時間は、本商品の通信状態により数分程度長くなる場合があります。

ロングライフ充電

本商品を充電するときに、充電残量が70%程度になったら充電を停止します。電池寿命を長持ちさせたい場合に、この機能を使うと便利です。

クイック設定 Web 画面で設定します。(🔗機能詳細ガイド)

「ECO 設定」－「ECO 設定」の【ロングライフ充電】で設定します。初期値は「使用しない」です。



お知らせ

● 充電池について

充電池は、常に満充電状態や高温に長時間置いた状態にすると電池寿命が短くなってしまいます。あまり使用していないのに毎日充電すると、常に満充電状態になっていることになり、電池寿命を縮めてしまいます。

3

利用端末を接続する

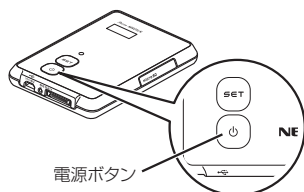
- 3-1 本商品を接続する3-2
- 3-2 無線 LAN を設定する3-5
- 3-3 パソコンなどから無線 LAN を簡単に
設定する3-6
- 3-4 無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone から
接続する3-10
- 3-5 無線 LAN 内蔵のゲーム機から
接続する3-11
- 3-6 Windows Vista® および Windows® 7/XP
の「ワイヤレスネットワーク接続」で
設定する3-12
- 3-7 無線 LAN アクセスポイントモードに
設定する3-32

本商品を接続するには、USB 接続と無線 LAN 接続、有線 LAN 接続があります。接続については、「つなぎかたガイド」を参照してください。

USB で接続する

1 本商品の電源を入れる

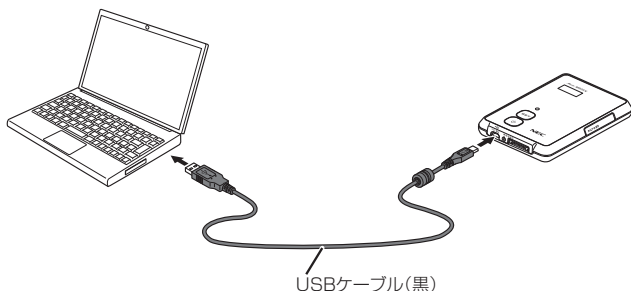
POWER ランプが緑点滅し、本商品が起動完了するまでに約 1 分かかります。POWER ランプが緑点灯し、ディスプレイが表示されます。



2 本商品の USB ポートとパソコンの USB ポートを USB ケーブル（黒）で接続する

※ USB コネクタは USB マークのついている面が上です。

誤って USB ケーブル（白）を接続しないようにご注意ください。



※ Windows® XP パソコンは非対応です。

Mac パソコンの USB でネットワークに接続する場合

本商品を USB 接続ではじめてネットワーク接続する場合には、以下の設定が必要です。

- ① 本商品を USB 接続すると「新しいネットワークインターフェイスが検出されました」と画面表示される
- ② [“ネットワーク” 環境設定] をクリックする
- ③ 「ネットワーク」の画面が表示されたら、IPv4 の構成で「DHCP サーバを使用」が表示されているのを確認し、[適用] をクリックする

お願い

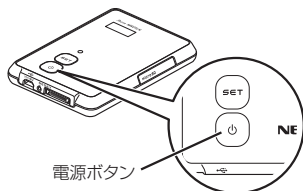
- USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 での使用をお勧めします。
なお、対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。動作確認済みのパソコンは別紙に記載のホームページをご覧ください。
本商品の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。
- USB ポートの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。
- 本商品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けた状態でパソコンのスタンバイ（サスペンド／レジューム）または休止（ハイバネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず USB ケーブルを取り外してから、スタンバイ（サスペンド／レジューム）または休止（ハイバネーション）を行ってください。
また、本商品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けた状態で再起動や電源を入れると、正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に USB ケーブルを取り外してください。
- 本商品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けても動作しない場合は、いったん USB ケーブルを取り外したうえで約 5 秒以上待ってから再度取り付けてください。（お使いのパソコンや環境によっては、約 5 秒待ってから取り付けても正しく認識できない場合があります。その場合は、さらに時間をおいて、いったん本商品の電源を OFF/ON してから取り付けてください。）
- 必ず添付の USB ケーブル（黒）をご使用ください。他の USB ケーブルを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- USB コネクタの表と裏を逆にすると接続できません。無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。

クレードル（オプション品）で有線 LAN 接続する

1

本商品の電源を入れる

POWER ランプが緑点滅し、本商品が起動完了するまでに約 1 分かかります。
POWER ランプが緑点灯し、ディスプレイが表示されます。

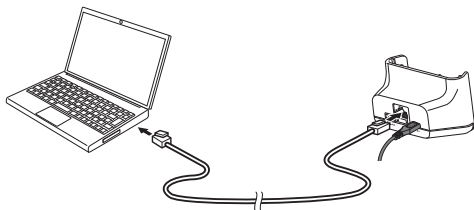


電源ボタン

2

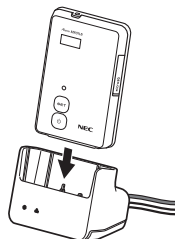
クレードルの LAN ポートとパソコンの LAN ポートを LAN ケーブルで接続する

ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチをルータモード (RT 側) にしてください。



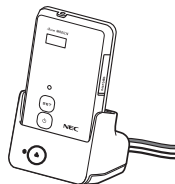
3

クレードルに奥まで確実にセットする



4

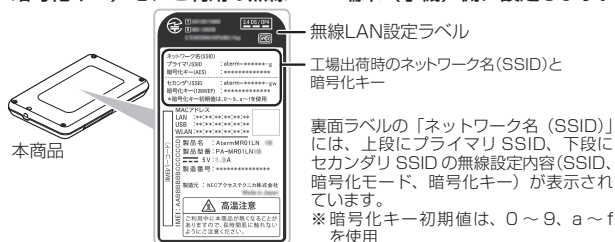
クレードルの LAN ランプが緑点灯または緑点滅していることを確認する (☛P1-11)



お願い

- 本商品をクレードルに接続する場合は、クレードルと本商品のクレードルポートを合わせてください。向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。
- LAN ケーブルは、カチッと音がするまで差し込んでください。

この章では、本商品に無線 LAN 接続する場合の設定について説明しています。
無線 LAN 接続するには、本商品の裏面に記載されている無線設定（ネットワーク名（SSID）、暗号化キー）を、ご利用の無線 LAN 端末（子機）側に設定します。



【無線設定内容（初期値）】

下記の「xxx…」 「yyy…」 は装置ごとに違う値ですので、本商品の裏面ラベルをご確認ください。

ネットワーク名 (SSID)		暗号化キー	暗号化
プライマリ SSID	2.4GHz	aterm-xxxxxx-g	xxxxxxxxxxxxx AES
セカンダリ SSID	2.4GHz	aterm-xxxxxx-gw	yyyyyyyyyyyyyy WEP (128bit)

● ネットワーク名 (SSID)

マルチ SSID 機能により、本商品には 2 つのネットワーク「プライマリ SSID」「セカンダリ SSID」があります。初期値については、上記の表を参照してください。

※ AES に対応していない無線 LAN 端末（子機）（ニンテンドー DS など）は、セカンダリ SSID に接続してください。

● 暗号化キー

暗号化キーは、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワードとも呼ばれています。

初期値は、半角英数 13 桁（0～9、a～f を使用）に設定されています。

※ アルファベットの大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。

※ 暗号化キーで使用されているアルファベットは、工場出荷時の状態ではすべて小文字（abcdef）です。（「B」（ビー）、「G」（ジー）、「I」（アイ）、「l」（エル）、「O」（オー）は使用していません。）

※ 暗号化方式が WEP の場合は、下記を参考に設定してください。

- ・ WEP では OpenSystem 認証を使用しています。
- ・ キーは自動的に提供されません。また、キーインデックスは「1」となります。
- ・ IEEE802.1x は使用していません。
- ・ 英数字を 16 進数で入力する場合は読み替えてください。

読み替え方法：

英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	61	62	63	64	65	66

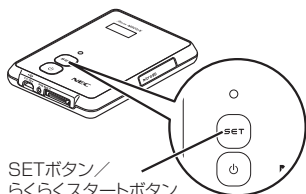
読み替え例：

0123456789abc → 30313233343536373839616263

パソコンなどから無線 LAN を簡単に設定する

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX／らくらく QR スタートを使用して無線設定をする

らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX とは、本商品にある SET ボタンの操作で、無線 LAN の接続設定 (SSID・暗号化キーなどの設定) を簡単に行える機能です。(●「つなぎかたガイド」) らくらく QR スタートとは、スマートフォン・タブレット端末専用アプリを使って、無線 LAN の接続設定を簡単に行える機能です。(●別紙「スマートフォン・タブレット端末専用アプリを使って簡単に無線 LAN 設定をしよう!」)



SET ボタン／
らくらくスタートボタン

無線 LAN 内蔵パソコン^(※1)の場合は、らくらく無線スタート EX で設定が可能です。(●「つなぎかたガイド」)

なお、本商品はらくらく無線スタートに対応した、Aterm シリーズの無線 LAN 端末 (子機)^(※2) や無線 LAN 内蔵パソコンからのらくらく無線スタートによる接続設定に対応しています。(設定方法は、無線 LAN 端末 (子機) に添付の取扱説明書を参照してください。)

※1: Windows Vista[®] または Windows[®] 7/XP (SP2/SP3)、Mac OS X v10.5/v10.6 の日本語版かつ Intel 製 CPU 搭載のパソコンに対応。かつ各 OS のワイヤレスネットワーク接続などで無線 LAN 設定ができる環境に限られます。

※2: WL300NC、WL130NC、WL300NC-G、WL450NU-AG、WL300NU-GS、WL300NU-AG、WL300NU-G、WL54AG、WL54SC、WL54SC2、WR9500N (子機モード)、WL300NE-AG、WL54SU、WL54SU2、WL54TU に対応。対応 OS は各製品情報ページの仕様をご覧ください。



お知らせ

- らくらく無線スタート EX は、添付の CD-ROM に収録されています。
- らくらく無線スタートで接続できない場合があります。接続に失敗する場合には手動で無線設定し、接続してください。(●P3-12)
- ESS-ID ステルス機能を設定すると、らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX で接続できない場合があります。その場合には、クイック設定 Web 画面の「無線 LAN 設定」で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」を「使用しない」に設定してから、らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX を実施してください。接続完了後、「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」を「使用する」に設定してください。(設定方法は、「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 設定」－「無線 LAN 端末 (子機) の接続制限」を参照してください。)

WPS 機能を使用して無線設定する

本商品は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。

設定するには、無線 LAN 端末 (子機) 側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN の接続設定を簡単に行うための規格です。

設定には、以下の方法があります。

● SET ボタン  による設定 (☛ 下記)

● PIN 方式による設定

→ 本商品の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末 (子機) に設定する (☛ P3-8)



お知らせ

- 本商品の設定で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」が「使用する」になっていると、WPS 機能での設定に失敗します。本商品側の設定を確認してください。
- WPS 機能での設定中は他の無線接続はいったん切断されることがあります。
- 本商品は工場出荷時の状態で、自動 LED 節電と自動省電力の「スリープ」が設定されています。SET ボタン  による設定を実行する際は、SET ボタン  を押して POWER ランプを通常点灯させてから行ってください。

SET ボタン による設定

本商品の SET ボタン  を押すことで、WPS 機能を起動させることができます。設定方法は下記のとおりです。

※ 設定の際は、本商品と無線 LAN 端末 (子機) は近くに置いた状態で設定してください。
(目安: 1m 程度)



お知らせ

- 本商品の設定で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN 端末 (子機) の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN 端末 (子機) によっては WPS 機能で設定できません。本商品側の設定を確認してください。

1

無線 LAN 端末 (子機) の WPS 機能を起動する

※ 起動方法は、無線 LAN 端末 (子機) に添付の取扱説明書などを参照してください。

2

SET ボタン を押してすぐ放す (POWER ランプが約 3 分間のみ通常点灯する)

※ POWER ランプが通常点灯している場合は、この手順は不要です。

- 3 通常点灯したらすぐに SET ボタン  を押し、POWER ランプが緑点滅または緑点滅したら放す



- 4 POWER ランプが点灯することを確認する

※ POWER ランプは約 10 秒間点灯したあと、通常点灯に戻ります。



失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点滅します。
再度手順 1 からやり直しても失敗する場合は、無線 LAN 端末（子機）の取扱説明書などを参照して、本商品のネットワーク名（SSID）と暗号化キーを設定してください。

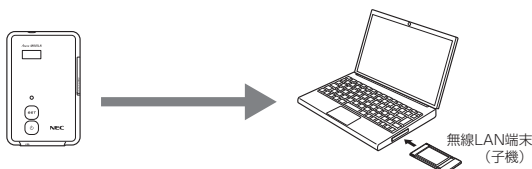
※ ネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、本商品裏面のラベルを参照してください。

PIN 方式による設定

本商品の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する

PIN 方式を使って、本商品の設定を無線 LAN 端末（子機）に設定します。

※ご利用になる無線 LAN 端末（子機）のドライバや設定ツールが必要な場合は、インストールを済ませておいてください。



お知らせ

- 本商品の設定で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN 端末（子機）によっては WPS 機能で設定できません。本商品側の設定を確認してください。

1 無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、いったん USB ケーブル（黒）でパソコンと本商品を接続する

※他のパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、手順 2 に進みます。

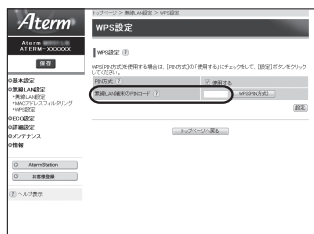
2 クイック設定 Web を起動する（●P4-4）

3 「無線 LAN 設定」－「WPS 設定」を選択する

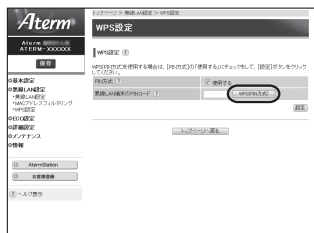
4 「[PIN 方式]」の「使用する」にチェックする

5 「[無線 LAN 端末の PIN コード]」に無線 LAN 端末（子機）の PIN コードを入力する

※無線 LAN 端末（子機）の PIN コードは、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。



6 「[WPS (PIN 方式)]」をクリックする



<画面は参考例です>

7 「[OK]」をクリックする

※本商品の POWER ランプが緑橙点滅します。

8 無線 LAN 端末（子機）を接続したパソコンで上記の設定をした場合は、パソコンから USB ケーブル（黒）を取り外して、10 秒待つ

※他のパソコンで設定した場合は、手順 9 に進みます。

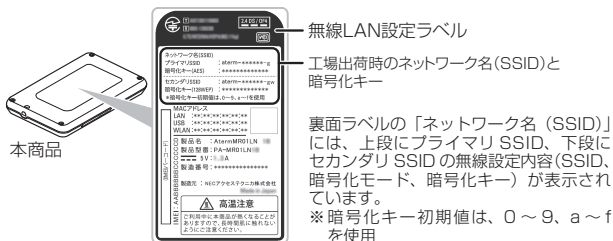
9 無線 LAN 端末（子機）側で WPS 機能を起動する

※起動方法については、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

※無線設定が完了すると、本商品の POWER ランプが橙点灯（約 10 秒間）します。

無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone から接続する

本商品に無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone を接続することができます。
無線 LAN 設定ラベル^{*}に記載されている無線設定を iPad/iPod touch/iPhone 側に設定してください。
設定方法については、iPad/iPod touch/iPhone 側の取扱説明書などを参照してください。
^{*}無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。



1 本商品裏面に記載されているネットワーク名 (SSID) と暗号化キーをあらかじめメモを取っておく

暗号化キーを変更されている場合は、変更後の暗号化キーになります。

2 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする

3 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする

4 「Wi-Fi」ボタンが「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする

5 周囲の無線 LAN アクセスポイントの一覧が表示されるので、手順 1 で確認したネットワーク名 (SSID) をタップする

6 「パスワード」に手順 1 で確認した暗号化キーを入力し、「Join」ボタンをタップする

本商品の暗号化キーの初期値は小文字です。数字を入力するときは、「[?]123」ボタンをタップすると、数字のキーボードに切り替わります。

7 設定が完了し、画面上部のステータスバーに Wi-Fi アイコンが表示される

例



お知らせ

- 本商品の無線 LAN で ESS-ID ステルスを設定する場合は、手順 5 で「その他」をタップしてネットワーク名を直接入力し、「セキュリティ」をタップして暗号化方式を選択してから「その他」をタップし、手順 6 へ進みます。ワイヤレスネットワークの一覧から選択していったん接続が完了してから本商品の ESS-ID ステルスを有効にすると、iPad/iPod touch/iPhone を次に起動した際に接続できなくなりますのでご注意ください。
- 本商品に MAC アドレスフィルタリングを設定しているときは、いったん解除してから接続してください。接続が完了したあとに、iPad/iPod touch/iPhone の MAC アドレスを登録して有効にしてください。
- 設定手順は、iPad/iPod touch/iPhone の OS バージョンにより変更される場合があります。

無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する

本商品に無線 LAN 内蔵のゲーム機を接続することができます。

●らくらく無線スタートで設定

らくらく無線スタートに対応したゲーム機の場合は、らくらく無線スタートで簡単に無線 LAN 接続設定ができます。

＜らくらく無線スタートで設定できるゲーム機の例＞

- ・Wii
- ・ニンテンドー DS (ニンテンドー DS Lite 含む)
- ・ニンテンドー DSi (ニンテンドー DSi LL 含む)
- ・ニンテンドー 3DS
- ・「プレイステーション 3」
- ・PSP®「プレイステーション・ポータブル」
- ・PlayStation®Vita



らくらく無線スタートのマークから設定

※図は一例です。

設定方法はゲーム機の取扱説明書を参照してください。

●手動設定

らくらく無線スタートに対応していないゲーム機や、らくらく無線スタートで接続できない場合は、手動で設定してください。

本商品裏面の無線 LAN 設定ラベルに記載されている無線設定をゲーム機側に設定してください。

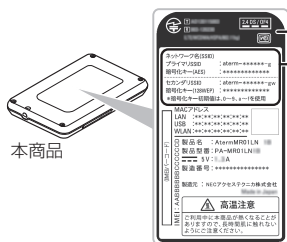
設定方法については、各ゲーム機に添付の取扱説明書を参照してください。

＜無線接続できるゲーム機の例＞

- ・Xbox360 など

ゲーム機の説明書にしたがって内蔵無線を有効にしたら、本商品のネットワーク名 (SSID) を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。

※設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。



無線LAN設定ラベル

工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー

裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容 (SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。

※暗号化キー初期値は、0～9、a～f を使用



お知らせ

●無線 LAN 端末 (子機) の通信で、12、13ch を使用する場合は、オートチャネルセレクトは使用できません。

●12、13ch は無線 LAN 端末 (子機) によっては使用できない、またはらくらく無線スタートの設定でプライマリ SSID に接続できない場合があります。

12、13ch を使用できない子機は 1～11ch を使用してください。また、らくらく無線スタートでプライマリ SSID に接続できないときは手動で設定してください。

●ニンテンドー DS (ニンテンドー DS Lite 含む) は、WEP にのみ対応していますので、ネットワーク名 (SSID) はセカンダリ SSID * を選択してください。暗号化キーは、本商品裏面の無線 LAN 設定ラベルに記載されている暗号化キーを設定してください。

※セカンダリ SSID は、無線 LAN 設定ラベルに記載されているネットワーク名 (SSID) の末尾に「-gw」がついたものです。(暗号化方式は、128bitWEP です。)

なお、ニンテンドー DSi、ニンテンドー 3DS の場合は、AES、TKIP の暗号化方式で接続できる場合があります。詳しくはゲーム機の取扱説明書を参照してください。

Windows Vista[®] および Windows[®] 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する

無線 LAN 内蔵パソコンが Windows Vista[®] および Windows[®] 7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワーク接続」で無線設定を行うことができます。

「ワイヤレスネットワーク接続」は、本商品の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP (64bit、128bit)」、「TKIP ※」、「AES ※」の場合に、ご利用いただけます。

※：TKIP、AES は、Windows Vista[®] または Windows[®] 7/XP (SP3) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書にしたがって無線スイッチを入れ、次の手順で設定してください。

① 設定する

「ワイヤレスネットワーク接続」の接続画面で本商品のネットワーク名 (SSID) を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。設定手順は下記を参照してください。

- ・ Windows[®] 7 の場合 (➡P3-13)
- ・ Windows Vista[®] の場合 (➡P3-20)
- ・ Windows[®] XP (SP3) の場合 (➡P3-27)

② 本商品との通信状態を確認する (➡P3-31)



お知らせ

- 設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。

Windows® 7 の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

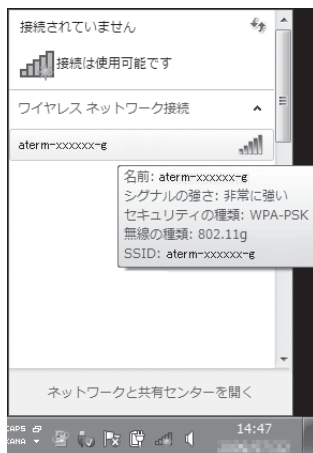
2 本商品のネットワーク名 (SSID) にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

・セキュリティが設定されている場合
([WEP]、[WPA-PSK]、[WPA2-PSK]
など)

→ <本商品に暗号化が設定されている場合> (☛P3-14) へ

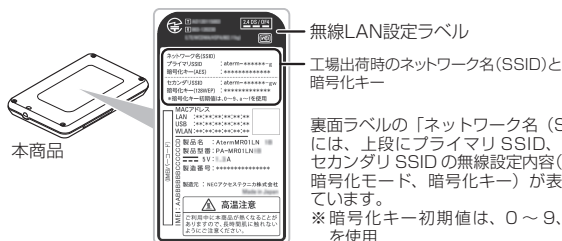
・「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合

→ <本商品に暗号化が設定されていない場合> (☛P3-15) へ



※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品裏面に記載されています。

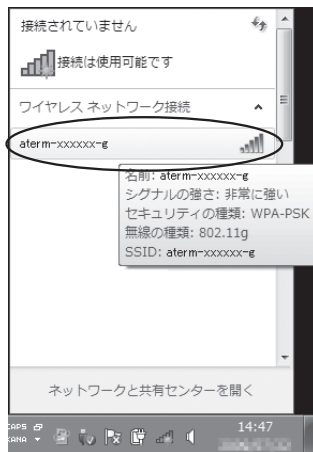
→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。 (セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。)



※本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックして「手動で設定する場合」(☛P3-16) の手順 2 へ進みます。

<本商品に暗号化が設定されている場合>

3 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックする



4 【接続】をクリックする

※ 接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [[はい] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1 (P3-13) から接続し直してください。

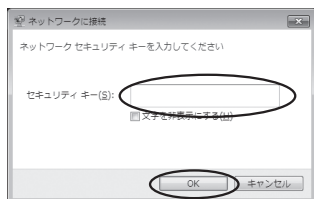


3-6 Windows Vista® およびWindows® 7/XPの「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する

5 「セキュリティ キー」に暗号化キーを入力して、[OK] をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-13)

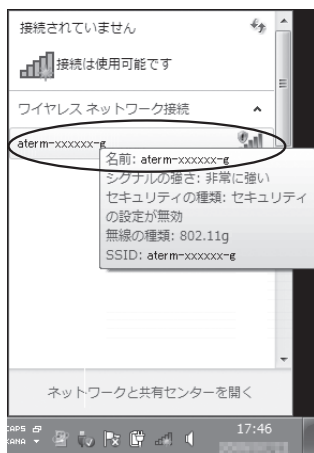
※本商品で暗号化モードを WEP、暗号化キー番号の 2 ～ 4 番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」(●P3-16)へ進みます。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-31)で確認してください。

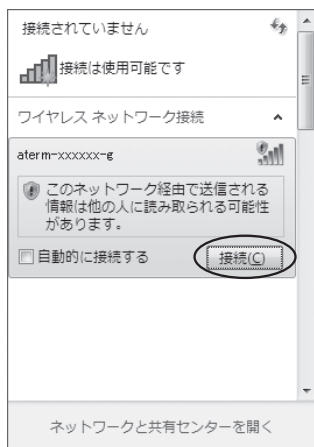
<本商品に暗号化が設定されていない場合>

3 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックする



(次ページに続く)

【接続】をクリックする



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(P3-31)で確認してください。

●手動で設定する場合

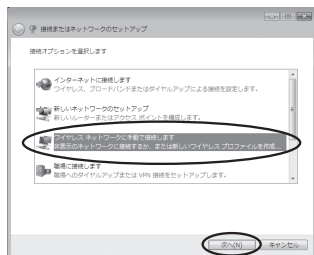
1

通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] – [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

2

[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



3

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-13)

〈本商品の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WPA- パersonal] または [WPA2- パersonal] を選択する
- ③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する
- ④ [セキュリティ キー] に本商品の暗号化キーを入力する
※暗号化キーは半角で、8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。
※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

【8～63 桁の場合】英数記号 (0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%	)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[	_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(	,	:	>	]	{	

※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数 (0～9、a～f、A～F)

- ⑤ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑥ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
- ⑦ [次へ] をクリックする

〈本商品の暗号化モードが WEP の場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する
- ③ [セキュリティ キー] に本商品の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 / 16 進数の区別は入力された文字列の長さをもとに自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：

本商品に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：

本商品に 128bitWEP を設定している場合

・ 16 進数の場合：

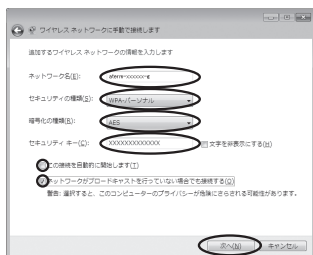
0～9・a～f で 10 文字：

本商品に 64bitWEP を設定している場合

0～9・a～f で 26 文字：

本商品に 128bitWEP を設定している場合

- ④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑤ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
- ⑥ [次へ] をクリックする



(次ページに続く)

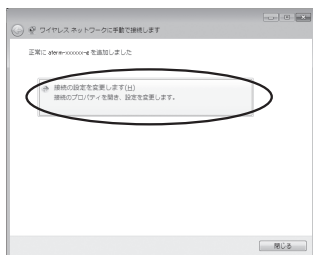
【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

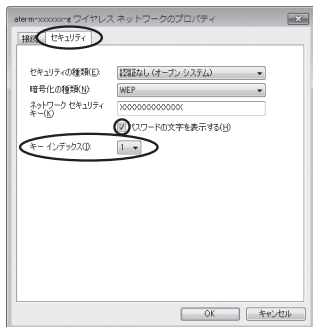
- ① [ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) をクリックして右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [はい] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P3-16の手順1から接続し直してください。



【セキュリティ】タブをクリックして設定内容を確認する

- ※ [パスワードの文字を表示する] にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
- ※ 本商品の暗号化モードが WEP の場合は、[キーインデックス] で本商品に設定したキー番号を選択します。



※ 画面は、本商品の暗号化モードが WEP の場合の例です。

6

[OK] をクリックする

7

[閉じる] をクリックする

8

通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、本商品のネットワーク名（SSID）を選択し、[接続] をクリックする



以上で本商品との無線設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(P3-31)で確認してください。

Windows Vista® の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [ネットワークに接続] をクリックする

※ 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

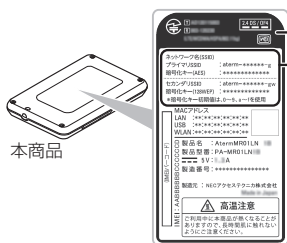
2 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



- ・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合
→ <本商品に暗号化が設定されている場合> (●P3-21)へ
- ・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合
→ <本商品に暗号化が設定されていない場合> (●P3-23)へ

※ 工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品裏面に記載されています。

→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。(セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。)



無線LAN設定ラベル

工場出荷時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー

裏面ラベルの「ネットワーク名 (SSID)」には、上段にプライマリ SSID、下段にセカンダリ SSID の無線設定内容 (SSID、暗号化モード、暗号化キー) が表示されています。

※ 暗号化キー初期値は、0 ~ 9、a ~ f を使用

※ 本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします] をクリックして「手動で設定する場合」(●P3-24)の手順 2へ進みます。

<本商品に暗号化が設定されている場合>

3

【接続】をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

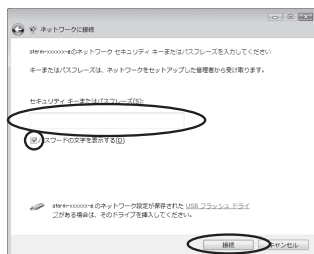
上記の手順が完了したら、手順1 (●P3-20) から接続し直してください。



4

【セキュリティ キーまたはパスフレーズ】に暗号化キーを入力して、[接続] をクリックする

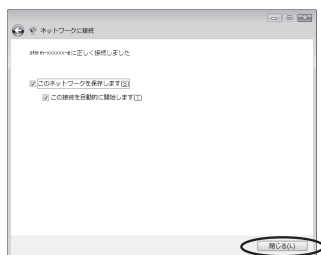
- ※「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れたら、入力文字が表示できます。
- ※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-20)
- ※本商品で暗号化モードを WEP、暗号化キー番号の2～4番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」(●P3-24)へ進みます。



「アクセスポイントの構成ボタンを押してください」と表示された場合は、画面内の「代わりに、ネットワークキーまたはパスフレーズを入力する必要があります」をクリックしてください。

5

【閉じる】をクリックする

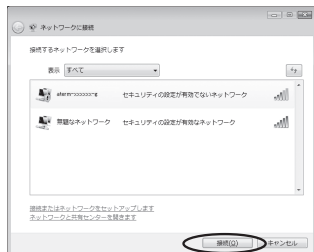


本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-31)で確認してください。

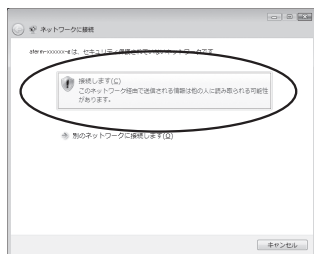
3-6 Windows Vista® およびWindows® 7/XPの「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する

＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞

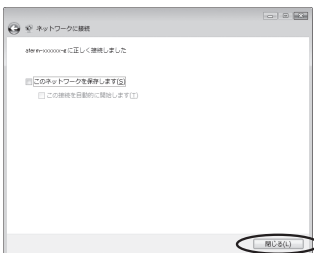
3 [接続] をクリックする



4 [接続します] をクリックする



5 [閉じる] をクリックする



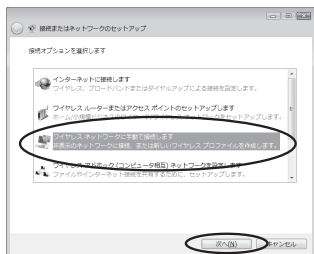
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(P3-31)で確認してください。

●手動で設定する場合

1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークと共有センター] — [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする

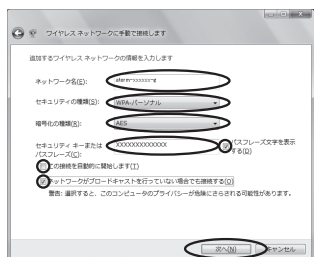


3 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(P3-20)

〈本商品の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WPA- パーソナル] または [WPA2- パーソナル] を選択する



- ③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する
- ④ [セキュリティ キーまたはパスフレーズ] に本商品の暗号化キーを入力する
※ [パスフレーズ文字を表示] にチェックを入れると、入力文字が表示できます。
※ 暗号化キーは半角で、8 ~ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。
※ 暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。

【8 ~ 63 桁の場合】 英数記号 (0 ~ 9, a ~ z, A ~ Z, 下記の記号)

!	%	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[	]
#	'	+	/	=	\	`
\$	(	,	:	>	]	{

※ [\] (バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、[¥] と表示されます。

【64 桁の場合】 16 進数 (0 ~ 9, a ~ f, A ~ F)

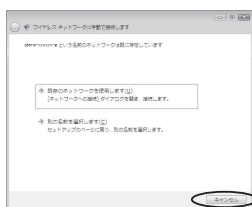
- ⑤ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑥ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
- ⑦ [次へ] をクリックする

〈本商品の暗号化モードが WEP の場合〉

- ① [ネットワーク名] で本商品のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する
- ③ [セキュリティ キーまたはパスフレーズ] に本商品の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 / 16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
・ 16 進数の場合：
0～9・a～f で 10 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
0～9・a～f で 26 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
- ④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑤ 本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
- ⑥ [次へ] をクリックする

4

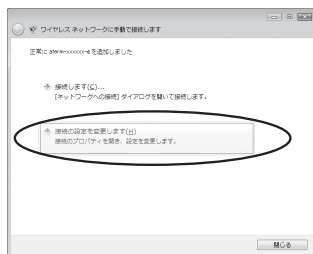
【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

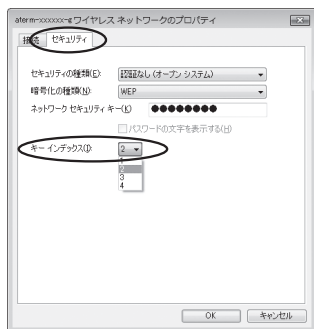
上記の手順が完了したら、P3-24 の手順 1 から接続し直してください。



(次ページに続く)

5 【セキュリティ】タブをクリックして 設定内容を確認する

※本商品の暗号化モードが WEP の場合は、
[キーインデックス] で本商品に設定した
キー番号を選択します。

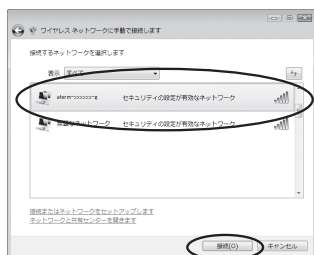


※画面は、本商品の暗号化モードが
WEP の場合の例です。

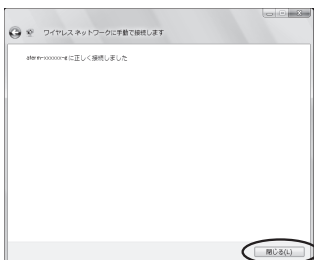
6 【OK】をクリックする

7 【接続します】をクリックする

8 本商品のネットワーク名 (SSID) を 選択し、【接続】をクリックする



9 【閉じる】をクリックする



以上で本商品との無線設定は完了です。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(P3-31)で確認してください。

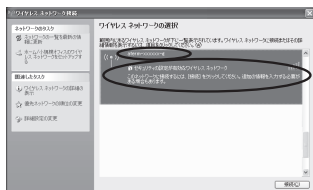
Windows® XP (SP3) の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックする

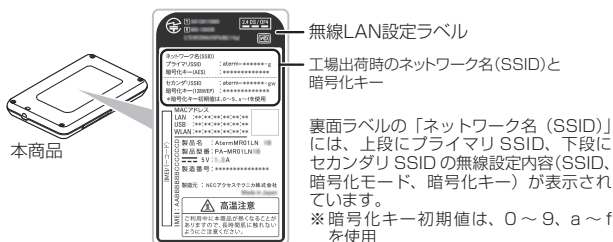


- 2 本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



- ・「セキュリティの設定が有効なワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
→ <本商品に暗号化が設定されている場合> (●P3-28) へ
- ・「セキュリティで保護されていないワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
→ <本商品に暗号化が設定されていない場合> (●P3-28) へ

※ 工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、本商品裏面に記載されています。
→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。(セカンダリ SSID は、本商品裏面のラベルに記載されています。)



※ 本商品のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[詳細設定の変更] をクリックして、「手動で設定する場合」の手順 3 (●P3-29) へ進みます。
それでも接続できない場合には、本商品で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を解除してください。

<本商品に暗号化が設定されている場合>

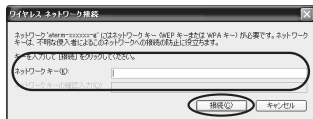
3 [接続] をクリックする

4 [ネットワークキー] に暗号化キーを入力して [接続] をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-27)

※本商品で暗号化モードを WEP、暗号化キー番号の 2～4 番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、[手動で設定する場合](●P3-29)へ進みます。

5 パソコンの画面右下の通知領域(タスクトレイ)で正しく接続されたことを確認する



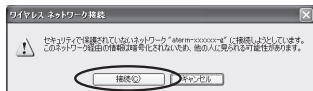
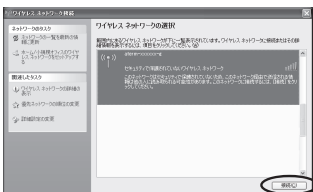
➡ 本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-31)で確認してください。

<本商品に暗号化が設定されていない場合>

3 [接続] をクリックする

4 次の画面が表示された場合は、[接続] をクリックする

5 パソコンの画面右下の通知領域(タスクトレイ)で正しく接続されたことを確認する

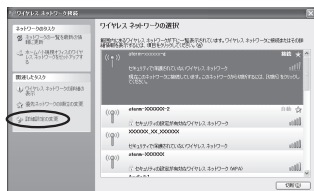


➡ 本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(●P3-31)で確認してください。

●手動で設定する場合

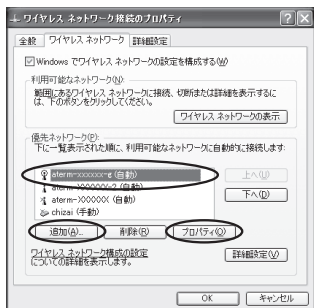
1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

2 [詳細設定の変更] をクリックする



3 [ワイヤレスネットワーク] タブをクリックし、本商品のネットワーク名 (SSID) をクリックして、[プロパティ] をクリックする

※ ネットワーク名 (SSID) が表示されていない場合は、[追加] をクリックする



4 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※ 工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面に記載されています。(●P3-27)

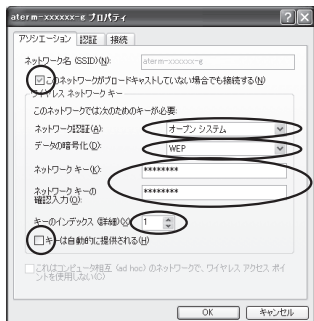
〈本商品の暗号化モードが TKIP または AES の場合〉

① [ネットワーク認証] で [WPA-PSK] または [WPA2-PSK] を選択する

※ [WPA2-PSK] は、[WPA2-PSK] に対応した無線 LAN 端末 (子機) でのみ選択できます。

② [データの暗号化] で [TKIP] または [AES] を選択する

③ [ネットワークキー] を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力] に再入力する
暗号化キーは半角で、8 ~ 63 桁の英数字または、64 桁の 16 進数で入力します。



※ 画面は、本商品の暗号化モードが WEP の場合の例です。

(次ページに続く)

※暗号化キーに使用できる文字は次のとおりです。(半角で入力します。)
 【8～63桁の場合】英数記号(0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%	)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[	_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(	,	:	>	]	{	

※「\」(バックスラッシュ)はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】16進数(0～9、a～f、A～F)

- ④本商品でESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する]のチェックを入れる
 ⑤[OK]をクリックする

＜本商品の暗号化モードがWEPの場合＞

- ①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する
 ②[データの暗号化]で[WEP]を選択する
 ③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
 ④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
 ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
 ・ASCII文字の場合:
 英数字5文字:
 本商品に64bitWEPを設定している場合
 英数字13文字:
 本商品に128bitWEPを設定している場合
 ・16進数の場合:
 0～9・a～fで10文字:
 本商品に64bitWEPを設定している場合
 0～9・a～fで26文字:
 本商品に128bitWEPを設定している場合
 ⑤本商品の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する
 ⑥本商品でESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する]のチェックを入れる
 ⑦[OK]をクリックする

5

[OK] をクリックする



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(P3-31)で確認してください。

本商品との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、[ネットワークと共通センターを開く]をクリックする

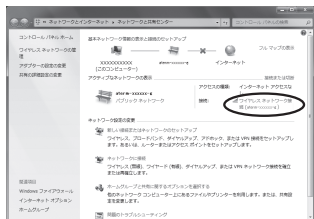
※Windows Vista®の場合は、[スタート]（Windows®のロゴボタン）－[ネットワーク]－[ネットワークと共有センター]をクリックします。

※Windows® XPの場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

2 [ワイヤレスネットワーク接続]をクリックする

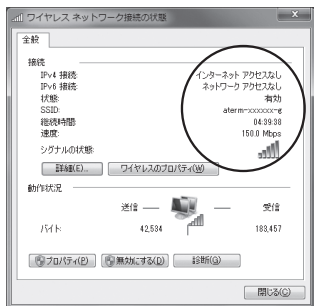
※Windows Vista®の場合は、「状態の表示」をクリックします。

※Windows® XPの場合は、[状態]をクリックし、[全般]タブをクリックします。



3 無線設定が正しく行われていることを確認する

- ・[状態]が「有効」になっていること（Windows® XPの場合は、[接続]になっていること）
- ・[速度]が表示されていること（表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。）



※画面はWindows® 7の場合の例です。

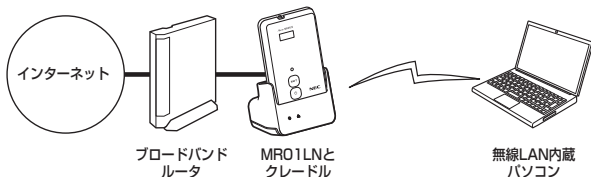
4 [閉じる]をクリックする

無線 LAN アクセスポイントモード に設定する

本商品をクレードル（オプション品）に接続したときに、LTE/3G 接続／ルータ機能を停止することで無線 LAN アクセスポイントとして利用できます。

クレードルのルータ／アクセスポイントモード切替スイッチを使って設定します。

※本機能をご利用の際は、クレードルをご用意ください。



- 1 クレードルのルータ／アクセスポイントモード切替スイッチをアクセスポイントモード（AP 側）に切り替える



- 2 ブロードバンドルータとクレードルの LAN ポートを LAN ケーブルで接続する
- 3 本商品の電源が入っていることを確認し、クレードルにセットする
奥まで確実に押し込んでください。
- 4 再起動（約 30 秒）し、無線 LAN アクセスポイントモードに切り替わります

※アクセスポイントモード側でクレードルの着脱を行うと再起動（約 30 秒）します。

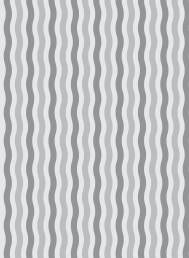
！ 無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意

- 無線 LAN アクセスポイントモードでらくらく無線スタートを行う場合は、必ず本商品をブロードバンドモデムなど DHCP サーバ機能を持った機器に接続した状態で行ってください。



お知らせ

- ブロードバンドモデムをパソコンや他のブロードバンドルータに接続していた場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切ってください。なお 20 分～24 時間待って電源を入れないと、正常に動作しない場合があります。



4

クイック設定 Web の 使いかた

4-1	クイック設定 Web の使いかた	4-2
-----	------------------------	-----

クイック設定 Web は、本商品の基本的な設定や詳細な設定を行いたいときに利用します。WWW ブラウザの画面で設定します。

設定方法などの詳細は、別紙に記載のホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。



お知らせ

- クイック設定 Web が利用できる WWW ブラウザについては、「動作確認済みの WWW ブラウザ」(P4-3) を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。
- クイック設定 Web 画面を起動するとき、URL の指定が「http://aterm.me」の場合、クイック設定 Web が表示されないことがあります。
そのときは、URL を IP アドレス指定（工場出荷時は「http://192.168.179.1」）に変更しアクセスしてください。

お願い

- クイック設定 Web の設定は、[設定] をクリックしたあと [保存] をクリックしてからでないと保存されません。
- 無線 LAN 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。

クイック設定 Web をご使用になる前に

クイック設定 Web をご使用になる前に、以下を確認してください。

● MRO1LN とパソコンとの無線接続

- 「つなぎかたガイド」を参照して無線接続を完了させておいてください。
- IP アドレスが正しく取得できているか確認してください。

< IP アドレスの確認方法 >

■ Windows® 7/Windows Vista® の場合

- ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする
- ② 「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押す
- ③ IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

■ Windows® XP の場合

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする
- ② 「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押す
- ③ IP アドレス (IP Address) が「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

■ Mac OS X の場合

以下は Mac OS X v10.6 の場合の例です。

- ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する
- ② [ネットワーク] 画面で [AirMac] を選択し、[詳細] をクリックする
- ③ [TCP/IP] タブをクリックする
- ④ IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

■ iOS の場合

以下は iOS 4.2 の場合の例です。

- ① 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする
- ② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする
- ③ 「ワイヤレスネットワークを選択...」から、チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある「>」ボタンをタップする
- ④ IP アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)

● JavaScript の設定

→ P1-20 を参照して、JavaScript の設定を有効に設定してください。

● 動作確認済みの WWW ブラウザ

■ Windows® 7 の場合

Internet Explorer 8.0/9.0 に対応
Firefox 3.6/9.0 に対応
Google Chrome 10.0/16.0 に対応

■ Windows Vista® の場合

Internet Explorer 7.0/8.0/9.0 に対応
Firefox 3.6/9.0 に対応
Google Chrome 16.0 に対応

■ Windows® XP (SP2/SP3) の場合

Internet Explorer 7.0/8.0 に対応
Firefox 3.6/9.0 に対応
Google Chrome 16.0 に対応

■ Mac OS X v10.5/v10.6 の場合

Safari 4.0/5.0 に対応
Firefox 3.6/9.0 に対応
Google Chrome 16.0 に対応

■ iOS 4.2 の場合

Safari 5.0 に対応
Firefox 9.0 に対応
Google Chrome 16.0 に対応

※ iOS で設定する場合は、本商品に無線 LAN 接続したあとに行ってください。

※ 下記内容は設定できません。(2012 年 6 月現在)

- ・ [設定値の保存&復元] 画面の「設定値の保存」、「設定値の復元」
- ・ [ファームウェア更新] 画面の「更新方法：ローカルファイル指定」
- ・ [通信情報ログ] 画面の「ファイルへ保存」

〈画面例〉



クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。

- ※ 事前に、本商品とパソコンの無線接続が完了していることを確認してください。
- ※ 本商品以外の無線 LAN アクセスポイント（親機）で、無線 LAN によるインターネット接続をしている場合、本商品からのインターネット接続が確認できるまで本商品以外の無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切っておいてください。

●ルータモードの場合（☛ 下記）

本商品を無線 LAN ルータとして使用する場合は、本商品をクレードル（オプション品）に接続して有線 LAN 接続で使用する場合。

（クレードルのルータ／アクセスポイントモード切替スイッチを RT 側に設定）

●無線 LAN アクセスポイントモードの場合（☛ P4-5）

本商品をクレードル（オプション品）に接続して、無線 LAN アクセスポイントとして使用する場合。

（クレードルのルータ／アクセスポイントモード切替スイッチを AP 側に設定）

ルータモードの場合

本商品を無線 LAN ルータとして使用する場合は、本商品をクレードル（オプション品）に接続して有線 LAN 接続で使用する場合は、クイック設定 Web は次の手順で起動します。

- ① パソコンなどを起動する
- ② WWW ブラウザを起動し、「http://aterm.me/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く
※ 本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。「http://aterm.me/」で開けない場合は、IP アドレスを入力してください。
（工場出荷時は 192.168.179.1 です。）例：http://192.168.179.1/

- ③ 次の画面が表示された場合は、画面にしたがって管理者パスワード（任意の文字列）を決めて、下の控え欄に記入する

※この画面は、管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。



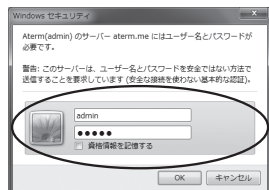
- 管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄	
-------------	--

- ④ ③で控えた管理者パスワードを画面に入力し、「設定」をクリックする

⑤ ユーザ名とパスワードを入力する

※「ユーザー名」（上段）には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」（下段）には③で控えた管理者パスワードを入力してください。



(画面は Windows® 7 の場合の例です。)

⑥ [OK] をクリックする

⑦ クイック設定 Web が表示される

無線 LAN アクセスポイントモードの場合

本商品をクレードル（オプション品）に接続して無線 LAN アクセスポイントとして使用する場合、クイック設定 Web は次の手順で起動します。

なお、本商品の IP アドレスは、IP アドレス自動補正機能により、本商品が接続しているネットワークのアドレス体系で、末尾が「211」の IP アドレスになっています。

※ IP アドレス自動補正機能を使用せずに、本商品の IP アドレスをお客様ご自身で設定した場合も下記の手順で起動できます。

① 本商品をクレードルに接続したまま、一度電源を入れ直し、起動直後にディスプレイに表示される IP アドレスを確認し、控えておく



控え欄	
-----	--

② WWW ブラウザを起動する

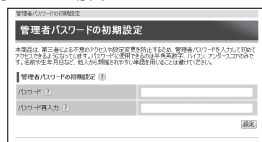
③ アドレス欄に上記手順①で控えた IP アドレスを入力して、クイック設定 Web のページを開く

※ IP アドレスの競合により本商品の IP アドレスの末尾を「211」以外に設定している場合は、設定したアドレスを入力してください。

※ アドレス欄に「http://aterm-XXXXXX/」（XXXXXX は本商品裏面ラベルの LAN の MAC アドレスの下 6 桁）と入力しても起動できる場合があります。

④ 次の画面が表示された場合は、画面にしたがって管理者パスワード（任意の文字列）を決めて、下の控え欄に記入する

※ この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

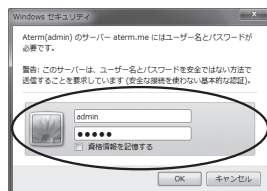


● 管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄	
-------------	--

⑤ ④で控えた管理者パスワードを画面に入力し、[設定] をクリックする

- ⑥ ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックする
 ※「ユーザー名」(上段) には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段) には④で控え
 た管理者パスワードを入力してください。

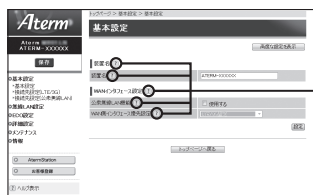


(画面は Windows® 7 の場合の例です。)

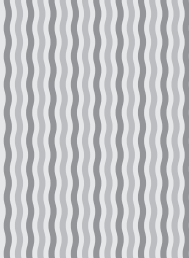
- ⑦ クイック設定 Web が表示される

ポップアップヘルプについて

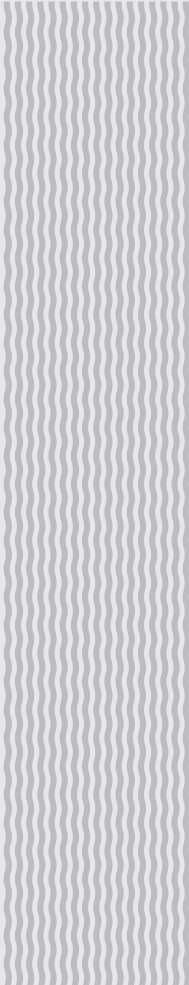
クイック設定 Web を開くと、各項目に  のポップアップヘルプがあります。
 このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件 (文字数など) が表示されます。



ポップアップヘルプ



5



便利な機能

- 5-1 公衆無線 LAN サービス.....5-2
- 5-2 スマートフォンアプリで情報を見る5-4
- 5-3 USB 給電機能.....5-6
- 5-4 その他の便利な機能5-7

本商品は、公衆無線 LAN サービスに対応しています。

公衆無線 LAN サービスエリアにいる場合、LTE/3G を経由しないでインターネットに接続することができます。

※ LTE/3G 契約と別途、公衆無線 LAN サービスの契約が必要です。

契約後にクイック設定 Web 画面の「基本設定」－「基本設定」で設定します。

LTE/3G と公衆無線 LAN の接続を電波状態などにより切り替えて使用します。初期値は、公衆無線 LAN 機能を「使用しない」です。

【用語】公衆無線 LAN サービス：無線 LAN 機能を持つパソコンや携帯情報端末を使ってカフェやホテル、街角などからインターネットに接続できるサービス。

お願い

- お客様が意図しない課金が発生する可能性がありますのでご注意ください。
本商品の電源を ON にしている場合、公衆無線 LAN サービスの提供エリアに入ると、お客様が設定した公衆無線 LAN アクセスポイントに自動的に接続（ログイン）することがあります。そのため、公衆無線 LAN サービスのご契約内容によっては、通信時間、接続回数などに応じた課金（従量課金制）がされる場合があります。完全定額制のサービスのご利用をお勧めします。

接続先設定方法

クイック設定 Web 画面の「基本設定」－「接続先設定（公衆無線 LAN）」で設定します。設定できる接続先は 5 件です。

＜プリセットの公衆無線 LAN アクセスポイントを設定する場合＞

- 1 【編集】をクリックし、接続先の設定編集画面を表示する
- 2 【設定方法を選択】の一覧から、契約したプロバイダのサービスを選択する
- 3 【選択】ボタンをクリックする
- 4 必要な情報を入力する
※ ユーザー名とパスワードは契約プロバイダから通知されたものを入力してください。
- 5 【設定】ボタンをクリック

(画面は一例です。)

<プリセット以外のアクセスポイントを設定する場合>

【設定方法を選択】の一覧にないアクセスポイントで無線 LAN 接続したいときは、手動設定で設定します。

- 1 【編集】をクリックし、接続先の設定編集画面を表示する
- 2 【設定方法を選択】の一覧から「手動設定」を選択する
- 3 【選択】ボタンをクリック
- 4 必要な情報を入力し、【設定】ボタンをクリック



お知らせ

- 公衆無線 LAN サービスによっては SSID が複数ある場合や SSID が変更になる場合があります。
そのときは、変更後の SSID と暗号化キーを手動設定から設定し、公衆無線 LAN サービスのログイン画面から手動でログインしてください。
- 公衆無線 LAN 側の IP アドレス体系と LAN 側の IP アドレスが重複した場合、接続できないことがあります。接続するには、LAN 側の IP アドレス体系を変更する必要があります。IP アドレスの再取得を行ってください。(●P8-10)
- 公衆無線 LAN サービスのご契約内容によっては、同じ SSID でも接続（ログイン）できない場合があります。
ご契約内容と対応エリアをご確認ください。
- 本商品が公衆無線 LAN 接続中に、無通信状態が続くなどして接続が切れてしまう場合があります。
再接続するには、公衆無線 LAN サービスのログイン画面から手動でログインしてください。ログイン方法は、各公衆無線 LAN サービスのログイン手順にしたがってください。
- 手動設定で設定したアクセスポイントは、エリア内で公衆無線 LAN をご利用する場合、ログイン画面が表示されます。各公衆無線 LAN サービスのログイン手順にしたがってログインしてください。
- 公衆無線 LAN 接続処理中に、無線 LAN 端末（子機）に公衆無線 LAN サービスのログイン画面が表示される場合があります。
- 無線 LAN 端末（子機）や公衆無線 LAN サービスの通信で 12、13ch を使用する場合は、オートチャネルセレクトは使用できません。
なお、無線 LAN 端末（子機）と公衆無線 LAN サービスでは同じチャネルを使用しています。

アプリ「Aterm Mobile Tool」をご利用いただくことで、本商品の情報をスマートフォンなどで確認することができます。

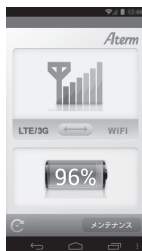
情報表示

一定間隔で情報を自動取得します。手動で取得する場合は、更新ボタンをタップしてください。

- ・電池残量（充電中は充電中の表示）
- ・アンテナレベル
- ・更新通知
- ・LTE/3G / WiFi（公衆無線 LAN）接続先の切り替えボタン

以下は、メンテナンスをタップすると表示されます。

- ・LTE/3G / 公衆無線 LAN 接続の WAN 側 IP 情報
- ・ファームウェアバージョン
- ・再起動ボタン



< 画面例 >

<ファームウェアの更新>

新しいファームウェアが存在している場合、アプリを起動すると、「新しいファームウェアがあります。クイック設定 Web を表示しますか?」と表示されるので、メッセージを確認し、[はい] をクリックします。

クイック設定 Web 画面が表示されるので、メニュー画面の【ファームウェア更新】ボタンをタップし、ファームウェアの更新を完了してください。

※ あらかじめクイック設定 Web の管理者パスワード設定を行っておいください。
(●P4-4)パスワードが設定されていないとアプリ起動時にエラーとなってしまいます。



< 画面例 >

＜インターネット接続先切り替え＞

LTE/3G と WiFi（公衆無線 LAN）の接続を切り替える場合、画面中ほどにある切り替えボタン  をタップしてください。

「優先接続先設定を切り替えますか？」と表示されるので、「はい」を選択することで接続先を切り替えることができます。

※ スマートフォンアプリから接続先の切り替えを行った場合、クイック設定 Web 側で設定してある優先接続先が変更されます。

ここでの変更は保持されますが、本商品の電源を OFF したり、再起動したりした場合は変更前の設定値に戻ります。

※ LTE/3G と WiFi（公衆無線 LAN）の接続を切り替える際は、いったんインターネットから切断されますのでご注意ください。

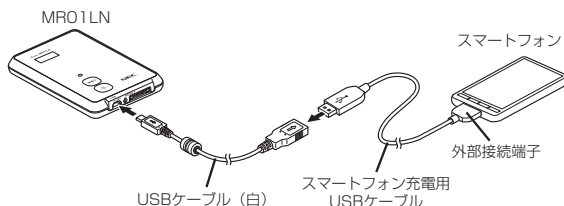


お知らせ

- 詳しくはホームページに掲載されています。添付されておりますサポート案内の用紙に記載の URL からご覧ください。
- 本商品以外の機器に接続していて、本商品との通信に失敗、もしくは本商品側が処理中で情報の取得ができない場合があります。その際は更新ボタンをタップして情報を取得してください。
- ネットワーク分離機能が有効になっている場合はご使用できません。

本商品の充電電池からスマートフォンへ、電源供給することができます。外出先でスマートフォンの電池切れが起こった場合に、この機能を使うと便利です。

※一部のスマートフォンでは動作しない場合があります。



- 1 本商品を電源 OFF、またはスタンバイにする
- 2 スマートフォンの外部接続端子に、スマートフォン充電用の USB ケーブルを接続する
※外部接続端子の位置、およびプラグの差し込み方法は、スマートフォンの取扱説明書を参照してください。
- 3 USB ケーブル (白) の microUSB コネクタを、本商品の USB ポートに接続する
※ USB コネクタは矢印のついている面が上です。
- 4 2つのケーブルを接続する
- 5 スマートフォンへの充電が始まる
スマートフォンの充電表示については、スマートフォンの取扱説明書を参照してください。
- 6 充電が終了したら、USB ケーブル (白) を外す

お願い

- USB ケーブル (白) は、必ず本商品に添付のものを使用し、他の製品の USB ケーブルは使用しないでください。火災、破損、故障の原因となります。



お知らせ

- 本機能はスタンバイ、および電源 OFF のときに利用できます。
- 本商品の電池残量が約半分以下になると給電を停止します。接続したスマートフォンへ給電が開始されない場合は、本商品を充電してください。

VPN パススルー機能

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN (Virtual Private Network : 仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「㊟機能詳細ガイド」を参照してください。

IP パケットフィルタリング

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。
必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。
(㊟機能詳細ガイド)

ポートマッピング

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。
(㊟機能詳細ガイド)

UPnP 機能

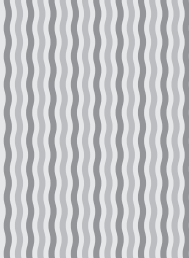
本商品とパソコンの UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能を利用して、パソコンの Windows Live Messenger、Windows Messenger の機能をご利用になることができます。
本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「㊟機能詳細ガイド」を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで UPnP の設定をすることで利用できます。



お知らせ

●UPnP 機能は、Windows Vista[®]、Windows[®] 7/XP のパソコンでのみご利用になれます。

MEMO



6

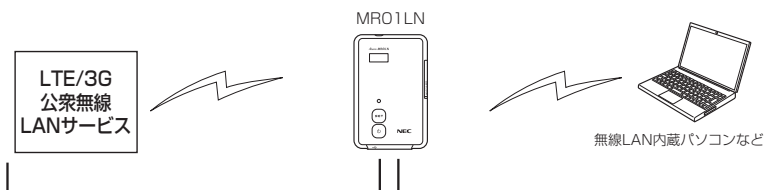
セキュリティ対策をする

6-1	セキュリティ対策をする.....	6-2
-----	------------------	-----

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（LTE/3G / 公衆無線 LAN サービス）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

セキュリティ対策の詳細については、「㊦機能詳細ガイド」を参照してください。



WAN回線側セキュリティ機能

- ・ IPパケットフィルタリング
- ・ アドバンスドNAT (IPマスカレード/NAPT)
- ・ 不正アクセス検出機能
- ・ ダイナミックポートコントロール機能

無線LAN内ネットワークセキュリティ機能

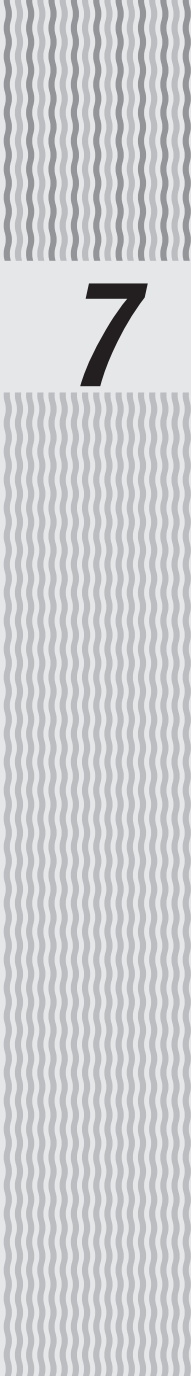
- ・ 暗号化※
- ・ MACアドレスフィルタリング機能
- ・ ESS-IDステルス機能 (SSIDの隠蔽)
- ・ ネットワーク分離機能

※ 本商品は、工場出荷時の状態で、プライマリ SSID 側のネットワークには AES、セカンダリ SSID 側のネットワークには WEP (128bit) の暗号化が設定されています。

設定内容(初期値)は、無線 LAN 設定ラベルを参照してください。(無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。)

② セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすること考えられます。
特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、ウイルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。
- 無線 LAN 端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。



7

バージョンアップをする

7-1 ファームウェアをバージョンアップする…7-2

ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、本商品に新しい機能を追加したり、場合によっては操作を改善します。

【用語】ファームウェア：本商品を動かすために組み込まれているソフトウェアのことです。



ファームウェアのバージョンアップの際は、充電電池の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量約 40% 以下は、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、充電をしてからバージョンアップしてください。

お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中は、絶対に本商品の電源を切らないでください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。
- 本商品は工場出荷時の状態で、自動LED 節電と省電力状態の「スリープ」が設定されています。SET ボタンによる設定を実行する際は、SET ボタンを押して POWER ランプを通常点灯させてから行ってください。

ファームウェアをバージョンアップする

SET ボタンによるバージョンアップ

本商品の POWER ランプが緑 3 秒、赤 0.5 秒の交互点滅している場合は、新しいファームウェアが存在しています。その場合、本商品の SET ボタンを使用してファームウェアのバージョンアップを行うことができます。

バージョンアップの際は、細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）をご用意ください。RESET スイッチを押すときに使用します。

※ 本機能は、LTE/3G / 公衆無線 LAN サービスエリア内で電波が届いていることを確認してから行ってください。



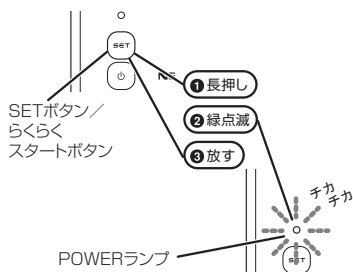
ファームウェアのバージョンアップの際は、充電電池の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量約 40% 以下は、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、充電をしてからバージョンアップしてください。

1 SET ボタンを押してすぐ放す

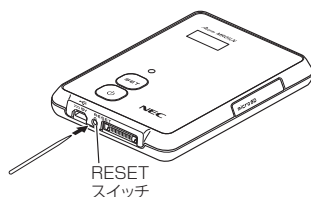
POWER ランプが通常点灯している（電源 ON）場合は、この手順は不要です。

2 通常点灯したらすぐに SET ボタンを長押し（約 6 秒）、POWER ランプが緑点滅になったら放す

他の無線接続はいったん切断されます。



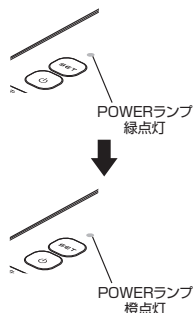
3 手順 2 から 1 分以内に、細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）で RESET スイッチを押し（約 1 秒）、放す（POWER ランプが緑点灯する）



ファームウェア取得中は、POWER ランプが緑点灯します。
POWER ランプが橙点灯に変わったら、ファームウェア更新中です。



ファームウェアの更新中は、絶対に本商品の電源を切らないでください。



4 バージョンアップが完了したら、自動で再起動される

5 POWER ランプが緑点灯し、ディスプレイが表示される

ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、ホームページに新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のメニュー画面に【ファームウェア更新】のボタンが表示されます。

このボタンをクリックすることでファームウェアのバージョンアップを行うことができます。



ファームウェアのバージョンアップの際は、充電電池の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量約 40% 以下は、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、充電をしてからバージョンアップしてください。

※ 本機能は、インターネットに接続されている必要があります。

また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。詳しくは、別紙に記載のホームページをご覧ください。

自動更新（オンラインバージョンアップ）

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品からインターネットに接続できている必要があります。



ファームウェアのバージョンアップの際は、充電電池の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量約 40% 以下は、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、充電をしてからバージョンアップしてください。

1 クイック設定 Web を起動する（➡P4-4）

2 ユーザ名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

3 「メンテナンス」－「ファームウェア更新」を選択する

4 「自動更新（オンラインバージョンアップ）」を選択する

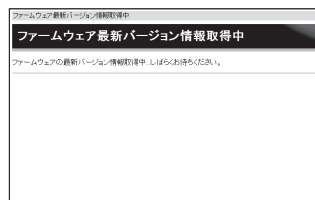


5 「更新」をクリックする

6 次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ

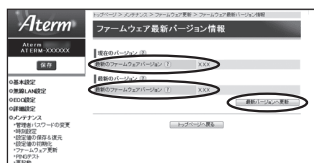


本商品の電源は、絶対に切らないでください。

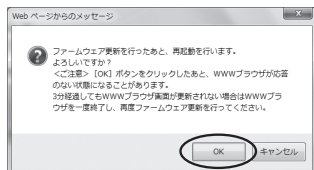


7 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、**【最新バージョンへ更新】**をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。



8 **【OK】**をクリックする



9 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。しばらくお待ちください。」と表示される



本商品の電源は、絶対に切らないでください。

10 **【OK】**をクリックする



ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページから、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

自動更新（オンラインバージョンアップ）にて、バージョンアップすることをお勧めします。（➡P7-5）

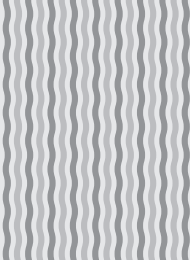
ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。



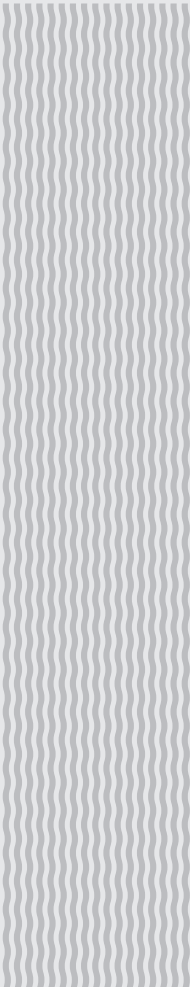
ファームウェアのバージョンアップの際は、充電電池の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量約 40% 以下は、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、充電をしてからバージョンアップしてください。

- 1 ホームページから最新のファームウェアをダウンロードする
※ファームウェアをダウンロードしたあと、解凍してご利用ください。
※最新のファームウェアについては、別紙に記載のホームページを参照してください。
- 2 **【更新方法】** で「ローカルファイル指定」を選択する
- 3 **【参照】** をクリックする
- 4 ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する
- 5 **【更新】** をクリックする
- 6 **【OK】** をクリックする

MEMO



8



お困りのときには

- 8-1 トラブルシューティング.....8-2
- 8-2 初期化する.....8-13

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「㊟機能詳細ガイド」(●P2)の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しています。本章と合わせてご覧ください。

該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し(●P8-13)、はじめから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。(㊟機能詳細ガイド)

- ・LTE/3G に関するトラブル (●P8-3)
- ・公衆無線 LAN サービスに関するトラブル (●P8-12)
- ・クレードル (オプション品) に関するトラブル (●P8-12)
- ・添付の CD-ROM に関するトラブル (●P8-12)

LTE/3G に関するトラブル

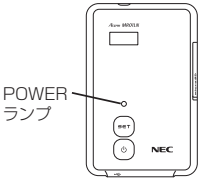
症 状	原因と対策
ネットワークに接続できない	●他のネットワークデバイスで通信していると、LTE/3G による通信が行えないことがあります。 →LTE/3G 以外の通信は切断してください。
圏外表示 (圏外) が点灯している	●ネットワーク接続に失敗しました。 →表示される電波受信レベルを確認して、電波状態の良い場所に移動してください。 ●サービスエリア外または電波が弱い可能性があります。 →表示される電波受信レベルを確認して、電波状態の良い場所に移動してください。 ●電源を入れ直してください。 POWER ランプが赤点灯するまで電源ボタン (Ⓢ) を長押しして、電源を OFF してから電源ボタン (Ⓢ) を放し、10 秒ほど待ってから、再度、POWER ランプが緑点滅するまで電源ボタン (Ⓢ) を押し、電源を ON してください。
接続状態で LTE 3G が表示されない	●APN の設定が間違えている場合があります。APN の設定内容を確認してください。(Ⓢ機能詳細ガイド)

● 充電池に関するトラブル

症 状	原因と対策
充電池での動作が短い (寿命について)	●満充電されている場合は、新品の場合、最大 6 時間 (LTE 接続時) の利用ができます。満充電時でも、1 時間程度の場合は、充電池の寿命が考えられますので、充電池のお取り替え (※) をお勧めします。時間が短い場合でも、利用上に支障はありません。
充電池での動作時間が短い	●満充電したい場合、ロングライフ充電を設定しているときは、設定を「使用しない」にして充電してください。 ●充電池の駆動時間は、温度の低い環境下では一時的に悪くなります。

※ 充電池のお取り替えについては、別紙に記載のホームページをご覧ください。

● POWER ランプが消灯している

症 状	原因と対策
POWER ランプが消灯している 	● 電源が入っていません。 ● 電池の残量がありません。 電源ボタン(ⓐ)を押してもPOWER ランプが緑点灯しない場合は、AC アダプタに接続して充電してからご使用ください。 ● スタンバイ状態です。 電源が入っていない状態かスタンバイかを確認するときは、SET ボタン(ⓑ)を短押ししてください。ディスプレイで電池残量の確認ができればスタンバイです。
POWER ランプが消灯して、動作が停止する	● 下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に動作を停止します。 ・ 直射日光に当たるところで使用した場合 ・ 高温下で充電しながら使用した場合 ・ かばんなどにに入れて密封して使用した場合 その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。 ● 充電電池の電池残量がありません。AC アダプタを使用して充電してください。(➡P2-3)
電源をONにしてもPOWER ランプが緑点滅しない	● 電源ボタン(ⓐ)、SET ボタン(ⓑ)と RESET スイッチを同時に約 1 秒押ししてください。電源が OFF の状態になります。10 秒ほど待ってから、再度、POWER ランプが緑点滅するまで電源ボタン(ⓐ)を押して電源を ON してください。

※ 自動 LED 節電中は、POWER ランプが約 5 秒周期の点滅をしています。(➡P2-6)

※ スリープ中は、POWER ランプが約 5 秒周期の遅い点滅をしています。(➡P2-6)

● 無線 LAN 通信ができない

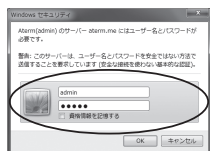
症 状	原因と対策
本商品に接続できない	● 暗号化キーの設定が本商品と無線 LAN 端末（子機）とで一致しているかを確認してください。（㊟機能詳細ガイド） ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 → ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ① ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける （アドレス：192.168.179.*、TCP ポート番号：23/53/75/80、UDP ポート番号：69/161） ② ①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ● 「らくらく無線スタートEXに関するトラブル」(●P8-8)も参照してください。 ● 本商品と無線 LAN 端末（子機）間の電波状態が悪い場合があります。（●下記）
本商品と無線 LAN 端末（子機）間の電波状態が悪い	● 電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、本商品や無線 LAN 端末（子機）の向きを変えたりして電波状態を確認してください。 ● 本商品の無線 LAN の送信出力を上げてみてください。（㊟機能詳細ガイド） ※連続動作時間は短くなります。
セカンダリ SSID が見つからない	● IEEE802.11b に対応している無線 LAN 端末（子機）によっては、セカンダリ SSID をサーチできない場合があります。この場合、SSID を直接設定することにより、接続可能となります。 例) 初期値の場合 プライマリ SSID：aterm-xxxxxx-g （無線 LAN 設定ラベル*に記載のネットワーク名（SSID）） セカンダリ SSID：aterm-xxxxxx-gw （無線 LAN 設定ラベル*に記載のネットワーク名（SSID）の末尾に「-gw」がついたもの） ※ 無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面に貼付しています。

● パソコンに IP アドレスが設定されていない

症 状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが設定されていない	●パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記の手順で IP アドレスを取り直してください。 < IP アドレスの再取得 > < Windows® 7/Windows Vista® の場合 > ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする ③ <code>ipconfig /release</code> と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④ <code>ipconfig /renew</code> と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < Windows® XP の場合 > ① [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする ② <code>ipconfig /release</code> と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ③ <code>ipconfig /renew</code> を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ④ IP アドレス (IP Address) が「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < Mac OS X の場合 > 以下は Mac OS X v10.6 の場合の例です。 ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [ネットワーク] 画面で [AirMac] を選択し、[詳細] をクリックする ③ [TCP/IP] タブをクリックする ④ [DHCP リースを更新] をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < iOS の場合 > 以下は iOS 4.2 の場合の例です。 ① [ホーム] 画面の [設定] アイコンをタップする ② 設定メニューの [Wi-Fi] をタップする ③ [ワイヤレスネットワークを選択...] から、チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある [>] ボタンをタップする ④ [DHCP リースを更新] をタップする ⑤ [DHCP リースを更新しますか?] をタップする ●無線 LAN をご利用の場合は、「無線 LAN 通信ができない!」(●P8-5) を参照して無線 LAN 通信を確立させてください。

● クイック設定 Web に関するトラブル

症 状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://atorm.me」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	● プロキシの設定をしていません → プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [LAN にプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「atorm.me」を入れる ● 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(●P1-16) ● 無線接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線接続していると、クイック設定 Web は表示できません。(●P1-4) その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN 端末（子機）からプライマリ SSID に無線接続してクイック設定 Web を表示してください。
本商品のクイック設定 Web が開かない	● JavaScript が無効に設定されている → WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(●P1-20) ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(●P8-6)
WWW ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザ名と管理者パスワードを要求される	● WWW ブラウザで本商品にアクセスすると、ユーザ名と管理者パスワードを要求されます。 → 「ユーザ名」(上段)には、「admin」を入力してください。「パスワード」(下段)には、WWW ブラウザで本商品に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。(●P4-4)
管理者パスワードを忘れてしまった	● 本商品を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(●P8-13) ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」-「設定値の保存&復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。(㊟機能詳細ガイド)
本商品のバージョンを確認したい	クイック設定 Web で確認することができます。 「情報」-「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。



症 状	原因と対策
ブラウザからの応答がなくなってしまった	● クイック設定 Web では、[設定] をクリックすると設定値は即時有効となりますので、[詳細設定] — [LAN 側設定]、または [無線 LAN 設定] — [無線 LAN 設定] の変更では、[設定] をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったんクイック設定 Web を終了させてください。（無線 LAN 設定を変更した場合は、本商品と無線 LAN 端末（子機）との無線設定を直しして、接続を確立させてください。）その後、再度クイック設定 Web を起動し（●P4-4）、[保存] をクリックしてください。（本商品の IP アドレスを変更した場合は、再度クイック設定 Web を起動する際、変更した IP アドレスを入力してください。） なお、[保存] をクリックせず、本商品の電源を OFF したり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。

● らくらく無線スタート EX に関するトラブル

症 状	原因と対策
らくらく無線スタート EX が成功しない	● 本商品のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている → らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になったらいったん放します。「つなぎかたガイド」などの手順にしたがってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。 ● ドライバが正しくインストールされていない → 詳細は、ご利用の無線 LAN 端末（子機）のメーカーにお問い合わせください。 ● らくらく無線スタート EX が正しくインストールされていない → 添付の CD-ROM（ユーティリティ集）、または別紙に記載のホームページから最新のらくらく無線スタート EX をダウンロードしてインストールしてください。 ● 本商品の暗号化が解除されている → 暗号化設定を行ってください。（㊟機能詳細ガイド） ● 本商品の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている → MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。（㊟機能詳細ガイド） ● パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している → 設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ● パソコンに設定された固定 IP アドレスが本商品のネットワーク体系とあっていない → パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。（●P1-17） ● 無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している → 無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。

症 状	原因と対策
らくらく無線スタートEX が成功しない (続き)	● 本商品と無線 LAN 端末 (子機) で使用可能な暗号化方式や暗号強度が一致していない → 本商品に無線 LAN 端末 (子機) で使用可能な暗号化方式や暗号強度を設定してください。AES または 128bitWEP に対応していない無線 LAN 端末 (子機) を利用する場合、本商品の設定を変更する必要があります。 ● 使用するネットワークに DHCP サーバとなる機器が存在しない状態で、本商品が無線 LAN アクセスポイントモードに設定されている。 → DHCP サーバとなる機器を設置してください。 ● どうしても設定できない場合は、「Windows Vista[®] および Windows[®] 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する」(●P3-12) で設定してください。

● ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
電源が切れてしまった	● 充電電池の電池残量がありません。充電してください。(●P2-3) ● 下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に動作を停止します。 ・ 直射日光に当たるところで使用した場合 ・ 高温下で充電しながら使用した場合 ・ かばんなどに入れて密封して使用した場合 その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。
ブラウザが正常に開かない	● WWW ブラウザでポップアップブロックが設定されていると、情報バーにポップアップブロックが表示され、正常に開かない場合があります。 → ポップアップブロックを解除し、再度ブラウザを開いてください。

症 状	原因と対策
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.179.XXX は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 < IP アドレスの再取得 > < Windows® 7/Windows Vista® の場合 > ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする ③ ipconfig /release と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④ ipconfig /renew と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < Windows® XP の場合 > ① [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする ② ipconfig /release と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ③ ipconfig /renew と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ④ IP アドレス (IP Address) が「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < Mac OS X の場合 > 以下は Mac OS X v10.6 の場合の例です。 ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [ネットワーク] 画面で [AirMac] を選択し、[詳細] をクリックする ③ [TCP/IP] タブをクリックする ④ [DHCP リースを更新] をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) < iOS の場合 > 以下は iOS 4.2 の場合の例です。 ① [ホーム] 画面の [設定] アイコンをタップする ② 設定メニューの [Wi-Fi] をタップする ③ [ワイヤレスネットワークを選択...] から、チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある [>] ボタンをタップする ④ [DHCP リースを更新] をタップする ⑤ [DHCP リースを更新しますか?] をタップする
前回はできたのにインターネット接続ができない	● パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 ◀IPアドレスの再取得(●P8-10)を参照して、IPアドレスを再取得してください。
本商品が正常に動作しないが、原因がわからない	● 設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。

症 状	原因と対策
接続する無線動作モードのネットワーク名 (SSID) を忘れてしまった	● 本商品側面の RESET スイッチによる初期化 (工場出荷状態に戻す) をしてください。(➡P8-14) 出荷時のネットワーク名 (SSID) の設定は本商品裏面に記載されています。(➡P3-5)
接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	● 本商品側面の RESET スイッチによる初期化 (工場出荷状態に戻す) をしてください。(➡P8-14) 出荷時のネットワーク名 (SSID) の設定は本商品裏面に記載されています。(➡P3-5)
無線状態が良好なのに速度が出ない	● 近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 → クイック設定 Web を起動して「無線 LAN 設定」→「無線 LAN 設定」の「無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定」で「使用チャネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャネルから 4 チャネル以上ずらすようにしてください。 ● 本商品と無線 LAN 端末 (子機) が近すぎる → 1m 以上離してください。
無線状態が良好なのに通信できない	● <IP アドレスの再取得> (➡P8-10) を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。 ● 固定 IP アドレスでお使いの場合は、本商品と無線 LAN 端末 (子機) に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 (例: 本商品が 192.168.179.1 のとき、無線 LAN 端末 (子機) は 192.168.179.XXX)
無線 LAN 端末 (子機) を利用して、AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛び	● 無線状態が悪い (本商品との距離が離れすぎている) → 電波状態が良好となる場所に移動してください。 ● 電波干渉がある → 無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 (➡ 上記) ● AV サーバのレートを低品質に下げてください。

公衆無線 LAN サービスに関するトラブル

症 状	原因と対策
公衆無線 LAN サービスに接続できない	● 公衆無線 LAN 機能が有効になっていることを確認してください。クイック設定 Web 画面の「基本設定」－「基本設定」から確認できます。 ● 契約しているプロバイダの契約状況を確認してください。 ● 公衆無線 LAN サービスエリア内であることを確認してください。 ● ユーザ名とパスワードが正しく設定されていることを確認してください。

クレードル（オプション品）に関するトラブル

● 有線 LAN で通信できない

症 状	原因と対策
LAN ケーブルを接続しても LAN ランプが消灯している	● 本体および LAN ケーブルが確実に接続されていない場合があります。接続を確認してください。
AC アダプタを使用しないで、LAN を接続していたが通信できなくなった	● 本体のディスプレイで電池状態が点滅している場合は、電池残量が少なくなっています。AC アダプタを接続して充電してください。
クレードルに置くと本商品が再起動する	● 無線 LAN アクセスポイントモードになっています。クレードル背面のルータ／アクセスポイントモード切替スイッチが AP 側にある場合、本商品を着脱するときに再起動します。無線 LAN アクセスポイントモードで使用しないときは、スイッチを RT 側にしてください。

添付の CD-ROM に関するトラブル

症 状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示したくない	Windows® XP の場合、CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。 → 表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 ● 不要な場合は X をクリックします。（機種によっては「終了」をクリックします。） ● Windows® XP の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。本商品がうまく動作しない場合は、本商品を初期化してはじめてから設定し直すことをお勧めします。

※ 初期化の際は、P8-14 の「お願い」もご覧ください。

※ 初期化しても、お客様がバージョンアップしたファームウェアはそのままです。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定 Web で初期化する（☛ 下記）

RESET スイッチで初期化する（☛ P8-14）

クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://aterm.me/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

本商品の IP アドレスを入力しても開きません。「http://aterm.me/」で開けない場合は、IP アドレスを入力してください。

（工場出荷時は 192.168.179.1 です。）例：http://192.168.179.1/

3 ユーザ名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザ名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「メンテナンス」－「設定値の初期化」を選択する

5 「設定値の初期化」をクリックする



6 [OK] をクリックする 再起動します。

RESET スイッチで初期化する

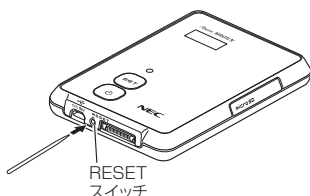
本商品の RESET スイッチを使って初期化を行います。RESET スイッチは、本商品側面にあります。細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など）をご用意ください。

1 SET ボタン を押してすぐ放す

POWER ランプが通常点灯している場合は、この手順は不要です。

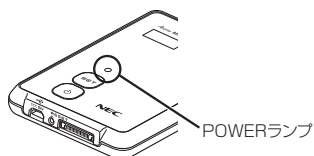
2 POWER ランプが通常点灯したら すぐに本商品側面にある RESET スイッチを細い棒状のもの（電 気を通さない材質のもの、つまよ うじの先など）で押し続け、 POWER ランプが赤点滅を始めた ら放す

POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒～ 10 秒かかります。



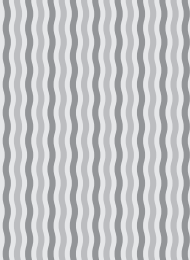
3 10 秒ほど待ってから、電源ボタン を長押しして、ディスプレイに“再起動します”と表示されたら放す

4 POWER ランプが緑点灯し、ディスプレイが表示される

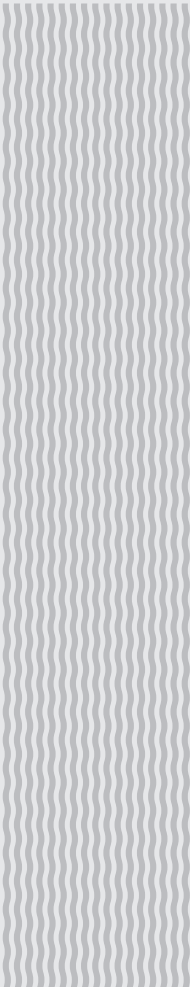


お願い

- 本商品は工場出荷時の状態で、自動 LED 節電と自動省電力の「スリープ」が設定されています。RESET スイッチで初期化の際は、SET ボタン  を押して POWER ランプを通常点灯させてから行ってください。
- 本商品の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、バケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 本商品は、工場出荷時に、ネットワーク名 (SSID)、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名 (SSID)、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（本商品の裏面に記載）になります。工場出荷時の暗号化設定を変更して使用している場合は、初期化する前にクイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存 & 復元」にて現在の設定内容を保存し、初期化後に同設定画面にて復元することをお勧めします。



9



付録

9-1	製品仕様	9-2
9-2	ディスプレイの表示説明	9-5
9-3	索引	9-6

MRO1LN ハードウェア仕様

項 目		諸元および機能		備考	
WAN インタ フェース	LTE インタ フェース	周波数範囲	Band I UL : 1,920 ~ 1,980MHz DL : 2,110 ~ 2,170MHz		
		伝送速度 *1	最大 下り 75Mbps、上り 37.5Mbps		
	HSPA インタ フェース	下り（基地局→端末）方向			
		周波数範囲	Band I DL : 2,110 ~ 2,170MHz		
		伝送速度 *1	最大 14.4Mbps		
		上り（端末→基地局）方向			
		周波数範囲	Band I UL : 1,920 ~ 1,980MHz Band VI UL : 830 ~ 840MHz		
		伝送速度 *1	最大 5.8Mbps		
	WCDMA インタ フェース	周波数範囲	Band I UL : 1,920 ~ 1,980MHz DL : 2,110 ~ 2,170MHz Band VI UL : 830 ~ 840MHz DL : 875 ~ 885MHz		
		伝送速度 *1	最大 384kbps		
	無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11n テクノロジー	周波数範囲／ チャンネル	2.4GHz 帯 2,422 ~ 2,462MHz 1 ~ 13ch *3	
		IEEE802.11b	周波数範囲／ チャンネル	2.4GHz 帯 2,412 ~ 2,472MHz 1 ~ 13ch *3	
		IEEE802.11g	周波数範囲／ チャンネル	2.4GHz 帯 2,412 ~ 2,472MHz 1 ~ 13ch *3	
LAN インタ フェース	無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11n テクノロジー	周波数範囲／ チャンネル	2.4GHz 帯 2,422 ~ 2,462MHz 1 ~ 13ch *3	
		IEEE802.11b	周波数範囲／ チャンネル	2.4GHz 帯 2,412 ~ 2,472MHz 1 ~ 13ch *3	
		IEEE802.11g	周波数範囲／ チャンネル	2.4GHz 帯 2,412 ~ 2,472MHz 1 ~ 13ch *3	
アンテナ		LTE/3G 用（WAN 用） 送信 1 × 受信 2（内蔵アンテナ） 無線 LAN 用（WAN/LAN 兼用） 送信 1 × 受信 1（内蔵アンテナ）			

項 目			諸元および機能	備考	
ヒューマンインタフェース	表示部	POWERランプ	通電表示		
		ディスプレイ	・電波受信レベル ・接続状態 ・電波強度 ・microSD カードの状態 ・電池状態 ・日時／メッセージ	39 × 96 ドット (約 0.77 インチ)	
	スイッチ		・RESET スイッチ ・SET ボタン／らくらくスタートボタン ・電源ボタン		
外部インタフェース	USB ポート		電源 DC+5V 入力用、microAB USB コネクタ× 1		
	クレードルポート		クレードル接続用コネクタ× 1		
	microSDHC カードスロット		microSDHC × 1 32GB まで		
	UIM カードスロット		UIM カード (SIM) × 1		
連続動作時間			一般通信時	LTE 約 6 時間	
				3G 約 8 時間	
			スタンバイ時	約 250 時間	
			スリープ時	約 30 時間	
動作保証環境			温度 0 ～ 35℃ 湿度 10 ～ 90%		結露しないこと
外形寸法			約 117 (W) × 74 (D) × 16 (H) mm		突起部を除く
電池			充電電池パック (リチウムポリマ電池) 3,280mAh		USB/AC アダプタで充電内蔵型
電源			AC アダプタ		AC100 ～ 240V ± 10% 50/60Hz
消費電力			最大通信時	約 5.5W	
質量 (本体のみ)			約 150g		AC アダプタを除く

- *1: 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。
- *2: ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。
- *3: オートチャネルセレクト時は、1 ~ 11ch

クレードル仕様 ※オプション品

項 目			諸元および機能	
LAN インタ フェース	物理インタフェース		8 ピンモジュージャック (RJ-45) × 1 ポート	
	インタフェース		100BASE-TX	
	伝送速度		100Mbps	
	全二重／半二重		全二重／半二重	
AC アダプタ インタフェース	物理インタ フェース		USB コネクタ (micro B-type) × 1 ポート	AC アダプタ 接続用ポート ※USB 通信は できません。
ヒューマン インタフェース	状態表示 ランプ	POWER	電源通電時点灯	
		LAN	有線 LAN の通信状態表示	
	スイッチ		ルータ／アクセスポイントモード切替スイッチ × 1	
外形寸法			約 85 (W) × 53 (D) × 53 (H) mm	
質量			約 70g	

項 目	メッセージ	内 容
無線自動設定 (らくらく /WPS 自動設定)	らくらく /WPS	らくらく /WPS 自動設定で無線設定 中表示
	設定完了	らくらく無線 /WPS いずれかの設定 が完了した場合には表示
	設定失敗	らくらく /WPS 自動設定から設定に 失敗したとき
らくらく無線ス タート設定	SET ボタンを押してください	らくらく無線スタートで対象機器が検 索対象になった場合には表示
	らくらく設定中	らくらく無線スタートで無線 LAN 設 定中表示
	らくらく設定失敗	らくらく無線スタートで無線 LAN 設 定に失敗した場合には表示
WPS 設定	WPS 設定中	WPS 方式で無線 LAN 設定中表示
	WPS 設定失敗	WPS 方式で無線 LAN 設定に失敗し た場合には表示
ファームウェア更 新	FW 更新完了	ファームウェアのバージョンアップが 完了した場合には表示
	FW 更新失敗	ファームウェアのバージョンアップ (取得もしくは更新) に失敗した場合 に表示
	FW 更新中	ファームウェアの更新中表示
	FW 取得中	ファームウェアの取得中表示
	更新 FW あり	新しいファームウェアが存在する場合 に表示
初期化	初期化待機中	初期化準備状態で表示
	初期化しました	初期化起動直後 3 秒間表示
自己 IP アドレス	(例) 192.168.179.211	無線 LAN アクセスポイント (AP) 時 のみ表示 クレードル設置状態で起動 (もしくは 再起動) した際、直後の 15 秒間表示
UIM カード (SIM)	SIM 未挿入	UIM カード (SIM) が挿入されていな い場合には表示
PIN 認証 (UIM カード (SIM))	PIN 未認証	PIN 認証待ちの場合には表示
	PIN ロック	PIN ロックされている場合には表示
	PUK ロック	PUK ロックされている場合には表示
日時	12/15(TUE) 15:00	通常時に日時を表示
品名	MRO1LN (※)	起動中に本商品の品名を表示
起動関連	Now loading... (※)	起動中表示
	Please wait... (※)	スタンバイ / スリープからの復帰中に 表示
	再起動します	再起動する際に表示
電池	電池残量不足	電池残量が少なくなり、充電が必要な 場合には表示 ファームウェアのバージョンアップの 際、電池残量が 40% 以下でバージョ ンアップできない場合には表示

※ 一部のメッセージは単独で画面中央に表示されます。

㊦マークの項目については、ホームページに公開している「㊦機能詳細ガイド」で説明しています。

【数字】

11n テクノロジー無線 LAN ㊦

【A～Z】

AC アダプタ 1-7、2-3

AC アダプタ接続ポート 1-11

AES 1-4

AirMac 対応のパソコンで

インターネット接続 ㊦

CD-ROM 21、1-7

DHCP 固定割当設定 ㊦

DHCP サーバ機能 ㊦

DHCP 除外設定 ㊦

DNS フォワーディング ㊦

DNS ルーティング ㊦

ECO 設定 2-6

ESS-ID ステルス機能

(SSID の隠蔽) 6-2、㊦

IEEE802.11b 無線 LAN ㊦

IEEE802.11g 無線 LAN ㊦

IP パケットフィルタリング 5-7、㊦

JavaScript 1-20

LAN ポート 1-11

LAN ランプ 1-11

LTE/3G に関するトラブル 8-3

MAC アドレス

～フィルタリング機能 6-2、㊦

microSD カード 1-14

取り付け 1-14

取り外し 1-15

microSD カードスロット 1-10

microSD カードの状態 1-9

PIN 方式 3-8

POWER ランプ 1-8、1-11

RESET スイッチ 1-10、8-14

SET ボタン／らくらくスタートボタン

..... 1-8、1-9

TKIP 1-4

TV 電話をする (Windows Messenger

および Windows Live Messenger の

利用方法) 1-6、5-7

UIM カード (SIM) 1-12

取り付け 1-12

取り外し 1-13

UIM カードスロット 1-10

UPnP 機能 5-7、㊦

USB 給電機能 5-6

USB ポート 1-10

VPN パススルー機能 5-7、㊦

WAN 側機能 ㊦

WEP 1-4

WPS 機能 1-3、3-7、㊦

WWW ブラウザの設定 1-19

【ア行】

アドバンスド NAT

(IP マスカレード /NAPT) ㊦

アドバンスド NAT

(ポートマッピング) ㊦

暗号化 ㊦

安全にお使いいただくために 5

医療電気機器 8

インターネット接続先の登録 ㊦

オートチャンネルセレクト ㊦

【カ行】

各部の名称とはたらき 1-8

管理者パスワードの変更 ㊦

機能一覧 20

「機能詳細ガイド」目次 20

クイック設定 Web 4-2

～で初期化する 8-13

～の起動のしかた 4-4

～の使い方 ㊦

クレードル 1-11、9-4

～で有線 LAN 接続する 3-4

クレードルに関するトラブル 8-12

クレードルポート 1-10、1-11

ゲーム機やスマートフォンなどを

接続する 1-5、3-11

公衆無線 LAN サービス 5-2

工場出荷時の状態に戻す (初期化) 8-13

【サ行】

自動 LED 節電	2-6
自動省電力	2-6
充電	2-3
充電時間	2-5
充電池	
充電	2-3
取り扱い方	㊦
情報表示 (装置情報、状態表示)	㊦
初期化する	
RESET スイッチで～	8-14
クイック設定 Web で～	8-13
スマートフォンアプリ	5-4
製品仕様	9-2
セキュリティ機能	6-2
接続状態	1-9
接続する	
本商品を～	3-2
無線 LAN で iPad/iPod touch/iPhone から～	3-10
無線 LAN 内蔵のゲーム機から～	3-11
設定する	
Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で～	3-12
無線 LAN	3-5
無線 LAN アクセスポイントモードに～	3-32
設定値の初期化	8-13

【タ行】

ダイナミックポートコントロール機能	㊦
通信確認 (疎通確認テスト)	㊦
通信情報ログ (アクセスログ機能)	㊦
ディスプレイの表示説明	9-5
ディスプレイ表示	1-9
できること	1-2
デュアルチャネル	1-5、㊦
電源ボタン	1-8
電池残量	2-5
電池状態	1-9
電波強度	1-9
電波受信レベル	1-9
添付の CD-ROM に関するトラブル	8-12
動作時間	2-5

ドライバをインストールする	㊦
トラブルシューティング	8-2

【ナ行】

日時	1-9
ネットワーク	
パソコンの～の確認	㊦
ネットワークゲーム	1-6
ネットワーク分離機能	㊦
ネットワーク名 (SSID)	㊦

【ハ行】

バージョンアップ	7-2
はじめに (マニュアル構成)	2
パソコンのネットワークの確認	1-17
ファームウェアの更新	㊦
ファイアウォール	1-16、8-5、8-7、8-8
不正アクセス検出機能	㊦
ブロードバンドルータ機能	㊦
便利な機能	5-7
ポートマッピング	5-7
ポップアップヘルプ	4-6

【マ行】

マルチ SSID	1-4、㊦
無線 LAN スリープ	2-6
無線セキュリティ	㊦
メッセージ	1-9
目次	18

【ラ行】

らくらくスタートボタン	1-8、1-9
らくらく無線スタート EX 機能	㊦
らくらく無線スタート機能	㊦
ランプ表示	1-8、1-11
リチウムポリマ電池	17、9-3
ルータ/アクセスポイントモードの切り替え	3-32
ルータ機能	㊦
ロングライフ充電	2-8

【ワ行】

ワイヤレスネットワーク接続	3-12
---------------	------

■本商品で使用しているソフトウェアについて

以下に本商品で使用しているソフトウェアのライセンス規約（原文）を記載します。

Copyright (c) 1996, 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004

The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Copyright (c) 1982, 1986, 1987, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994, 1995

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS

“AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
“This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
“This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,

lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
“This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com)” The word ‘cryptographic’ can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
“This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed, i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided the following conditions are satisfied.

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.
2. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER "AS IS" AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

Common Public License Version 1.0

THE ACCOMPANYING PROGRAM IS PROVIDED UNDER THE TERMS OF THIS COMMON PUBLIC LICENSE ("AGREEMENT"). ANY USE, REPRODUCTION OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM CONSTITUTES RECIPIENT'S ACCEPTANCE OF THIS AGREEMENT.

1. DEFINITIONS

"Contribution" means:

- a) in the case of the initial Contributor, the initial code and documentation distributed under this Agreement, and
- b) in the case of each subsequent Contributor:
 - i) changes to the Program, and
 - ii) additions to the Program;

where such changes and/or additions to the Program originate from and are distributed by that particular Contributor. A Contribution 'originates' from a Contributor if it was added to the Program by such Contributor itself or anyone acting on such Contributor's behalf. Contributions do not include additions to the Program which: (i) are separate modules of software distributed in conjunction with the Program under their own license agreement, and (ii) are not derivative works of the Program.

"Contributor" means any person or entity that distributes the Program.

"Licensed Patents" mean patent claims licensable by a Contributor which are necessarily infringed by the use or sale of its Contribution alone or when combined with the Program.

"Program" means the Contributions distributed in accordance with this Agreement.

"Recipient" means anyone who receives the Program under this Agreement, including all Contributors.

2. GRANT OF RIGHTS

- a) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free copyright license to reproduce, prepare derivative works of, publicly display, publicly perform, distribute and sublicense the Contribution of such Contributor, if any, and such derivative works, in source code and object code form.
- b) Subject to the terms of this Agreement, each Contributor hereby grants Recipient a non-exclusive, worldwide, royalty-free patent license under Licensed Patents to make, use, sell, offer to sell, import and otherwise transfer the Contribution of such Contributor, if any, in source code and object code form.
This patent license shall apply to the combination of the Contribution and the Program if, at the time the Contribution is added by the Contributor, such addition of the Contribution causes such combination to be covered by the Licensed Patents. The patent license shall not apply to any other combinations which include the Contribution. No hardware per se is licensed hereunder.
- c) Recipient understands that although each Contributor grants the licenses to its Contributions set forth herein, no assurances are provided by any Contributor that the Program does not infringe the patent or other intellectual property rights of any other entity. Each Contributor disclaims any liability to Recipient for claims brought by any other entity based on infringement of intellectual property rights or otherwise. As a condition to exercising the rights and licenses granted hereunder, each Recipient hereby assumes sole responsibility to secure any other intellectual property rights needed, if any.
For example, if a third party patent license is required to allow Recipient to distribute the Program, it is Recipient's responsibility to acquire that license before distributing the Program.
- d) Each Contributor represents that to its knowledge it has sufficient copyright rights in its Contribution, if any, to grant the copyright license set forth in this Agreement.

3. REQUIREMENTS

A Contributor may choose to distribute the Program in object code form under its own license agreement, provided that:

- a) it complies with the terms and conditions of this Agreement; and
- b) its license agreement:
 - i) effectively disclaims on behalf of all Contributors all warranties and conditions, express and implied, including warranties or conditions of title and non-infringement, and implied warranties or conditions of merchantability and fitness for a particular purpose;
 - ii) effectively excludes on behalf of all Contributors all liability for damages, including direct, indirect, special, incidental and consequential damages, such as lost profits;
 - iii) states that any provisions which differ from this Agreement are offered by that Contributor alone and not by any other party; and
 - iv) states that source code for the Program is available from such Contributor, and informs licensees how to obtain it in a reasonable manner on or through a medium customarily used for software exchange.

When the Program is made available in source code form:

- a) it must be made available under this Agreement; and
- b) a copy of this Agreement must be included with each copy of the Program.

Contributors may not remove or alter any copyright notices contained within the Program.

Each Contributor must identify itself as the originator of its Contribution, if any, in a manner that reasonably allows subsequent Recipients to identify the originator of the Contribution.

4. COMMERCIAL DISTRIBUTION

Commercial distributors of software may accept certain responsibilities with respect to end users, business partners and the like. While this license is intended to facilitate the commercial use of the Program, the Contributor who includes the Program in a commercial product offering should do so in a manner which does not create potential liability for other Contributors. Therefore, if a Contributor includes the Program in a commercial product offering, such Contributor ("Commercial Contributor") hereby agrees to defend and indemnify every other Contributor ("Indemnified Contributor") against any losses, damages and costs (collectively "Losses") arising from claims, lawsuits and other legal actions

brought by a third party against the Indemnified Contributor to the extent caused by the acts or omissions of such Commercial Contributor in connection with its distribution of the Program in a commercial product offering. The obligations in this section do not apply to any claims or Losses relating to any actual or alleged intellectual property infringement. In order to qualify, an Indemnified Contributor must: a) promptly notify the Commercial Contributor in writing of such claim, and b) allow the Commercial Contributor to control, and cooperate with the Commercial Contributor in, the defense and any related settlement negotiations. The Indemnified Contributor may participate in any such claim at its own expense. For example, a Contributor might include the Program in a commercial product offering, Product X. That Contributor is then a Commercial Contributor. If that Commercial Contributor then makes performance claims, or offers warranties related to Product X, those performance claims and warranties are such Commercial Contributor's responsibility alone. Under this section, the Commercial Contributor would have to defend claims against the other Contributors related to those performance claims and warranties, and if a court requires any other Contributor to pay any damages as a result, the Commercial Contributor must pay those damages.

5. NO WARRANTY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, THE PROGRAM IS PROVIDED ON AN 'AS IS' BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OR CONDITIONS OF TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Each Recipient is solely responsible for determining the appropriateness of using and distributing the Program and assumes all risks associated with its exercise of rights under this Agreement, including but not limited to the risks and costs of program errors, compliance with applicable laws, damage to or loss of data, programs or equipment, and unavailability or interruption of operations.

6. DISCLAIMER OF LIABILITY

EXCEPT AS EXPRESSLY SET FORTH IN THIS AGREEMENT, NEITHER RECIPIENT NOR ANY CONTRIBUTORS SHALL HAVE ANY LIABILITY FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING WITHOUT LIMITATION LOST PROFITS), HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OR DISTRIBUTION OF THE PROGRAM OR THE EXERCISE OF ANY RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

7. GENERAL

If any provision of this Agreement is invalid or unenforceable under applicable law, it shall not affect the validity or enforceability of the remainder of the terms of this Agreement, and without further action by the parties hereto, such provision shall be reformed to the minimum extent necessary to make such provision valid and enforceable.

If Recipient institutes patent litigation against a Contributor with respect to a patent applicable to software (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit), then any patent licenses granted by that Contributor to such Recipient under this Agreement shall terminate as of the date such litigation is filed. In addition, if Recipient institutes patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Program itself (excluding combinations of the Program with other software or hardware) infringes such Recipient's patent(s), then such Recipient's rights granted under Section 2(b) shall terminate as of the date such litigation is filed.

All Recipient's rights under this Agreement shall terminate if it fails to comply with any of the material terms or conditions of this Agreement and does not cure such failure in a reasonable period of time after becoming aware of such noncompliance. If all Recipient's rights under this Agreement terminate,

Recipient agrees to cease use and distribution of the Program as soon as reasonably practicable. However, Recipient's obligations under this Agreement and any licenses granted by Recipient relating to the Program shall continue and survive.

Everyone is permitted to copy and distribute copies of this Agreement, but in order to avoid inconsistency the Agreement is copyrighted and may only be modified in the following manner. The Agreement Steward reserves the right to publish new versions (including revisions) of this Agreement from time to time.

No one other than the Agreement Steward has the right to modify this Agreement.

IBM is the initial Agreement Steward. IBM may assign the responsibility to serve as the Agreement Steward to a suitable separate entity. Each new version of the Agreement will be given a distinguishing version number. The Program (including Contributions) may always be distributed subject to the version of the Agreement under which it was received. In addition, after a new version of the Agreement is published, Contributor may elect to distribute the Program (including its Contributions) under the new version. Except as expressly stated in Sections 2(a) and 2(b) above, Recipient receives no rights or licenses to the intellectual property of any Contributor under this Agreement, whether expressly, by implication, estoppel or otherwise. All rights in the Program not expressly granted under this Agreement are reserved.

This Agreement is governed by the laws of the State of New York and the intellectual property laws of the United States of America. No party to this Agreement will bring a legal action under this Agreement more than one year after the cause of action arose. Each party waives its rights to a jury trial in any resulting litigation.

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● 廃棄方法について

本商品に内蔵されている充電電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。

本商品の廃棄方法は、製品サポートページをご確認ください。

● リチウム系電池輸送規制について

本商品は、リチウムポリマー電池を使用しています。本商品を輸送する場合は、輸送会社「リチウムポリマー電池を含んだ内容物」であることを伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。法令に基づく表示等を行わないで、空輸、海上輸送を行いますと、航空法、並びに船舶安全法に抵触し、罰せられることがあります。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまえば能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

製造元：NEC アクセステクニカ株式会社
Aterm MRO1LN 取扱説明書 第 1 版

AM1-002008-001
2012 年 7 月

